

令和4年

京都市感染症発生動向調査
事業実施報告書

京都市保健福祉局

はじめに

京都市では、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という）に基づき、京都市感染症発生動向調査事業指定届出機関の協力の下、京都市保健所と京都市感染症情報センターが感染症情報を収集・公表しています。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類感染症となり、ようやくコロナ前の日常生活を取り戻しつつあるところです。

この間、新型コロナウイルス感染症以外の感染症は、しばらく息を潜める状況が続いておりましたが、インフルエンザの令和4年シーズンにおいては、定点当たり報告数が約4年ぶりに警報基準値を超え、猛威を振るったシーズンとなりました。また、小児科定点把握対象の疾患では、RSウイルス感染症が令和4年6月から9月の夏場に、過去5年平均を上回る報告数となり、流行時期、報告数ともに異例の発生動向となりました。

新型コロナウイルス感染症の5類化が今後の感染症の発生動向にどのような影響を及ぼすのか、引き続き、注視する必要があります。

全数把握対象の感染症では、梅毒が95件の報告があり、過去最多の件数を更新しました。特に20代女性の報告数は去年の2倍となりました。好発年齢層に効果的な訴求方法を模索し、早い段階での受診や検査に結び付けることが緊喫の課題と考えております。

このように、感染症発生動向調査事業は、感染症の発生状況を正確に把握、分析し、その結果を関係機関へ迅速に情報公開することをもって、的確な予防・診断・治療に係る対策や多様な感染症の発生及びまん延の防止に資するだけでなく、保健所が取り組むべき公衆衛生対策の課題の抽出にも資する取組です。

今般、「令和4年京都市感染症発生動向調査事業実施報告書」を作成しました。本報告書を感染症予防及び公衆衛生対策の資料として御活用いただければ幸甚に存じます。

本報告書の作成にあたり御協力いただきました京都府医師会、京都市感染症発生動向調査事業指定医療機関及び京都市感染症発生動向調査委員会の諸先生方に厚くお礼申し上げますとともに、今後ともより一層の御指導・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年12月

京都市保健福祉局

目 次

1 令和4年感染症発生動向調査概況	
(1) 感染症発生動向調査事業概要.....	1
(2) トピックス	
ア 新型コロナウイルス感染症のまとめ.....	2
イ インフルエンザのまとめ.....	3
ウ 梅毒のまとめ	4
(3) 全数把握対象感染症(一類～五類感染症の一部)の概況	5
(4) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況	
ア インフルエンザ定点.....	11
イ 小児科定点	
(ア) RSウイルス感染症	12
(イ) 咽頭結膜熱	13
(ウ) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14
(エ) 感染性胃腸炎.....	15
(オ) 水痘.....	16
(カ) 手足口病	17
(キ) 伝染性紅斑	18
(ク) 突発性発しん	19
(ケ) ヘルパンギーナ.....	20
(コ) 流行性耳下腺炎.....	21
ウ 眼科定点	
(ア) 急性出血性結膜炎	22
(イ) 流行性角結膜炎.....	23
エ 性感染症定点	24
オ 基幹定点.....	26
(5) 感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省で定める疑似症の概況	26
表・図	27
2 検査情報	
(1) 三類感染症.....	38
(2) 四類感染症	
ア デングウイルス	38
イ 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)ウイルス.....	39
ウ A型肝炎ウイルス.....	39
(3) 五類感染症	
ア 感染性胃腸炎患者集団発生事例	39
イ 麻しんウイルス	41
ウ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症.....	41
(4) 京都市感染症発生動向調査事業における病原体検査(定点医療機関分)	42

1 令和4年感染症発生動向調査概況

(1) 感染症発生動向調査事業概要

本事業では、平成11年4月1日から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「感染症法」という。）に基づき、感染症に関する情報を迅速に収集、解析、提供及び公表することにより、有効かつ的確な予防対策の確立に資することを目的としています。

令和4年12月末現在、届出対象となる感染症は一類感染症 7疾患、二類感染症 7疾患、三類感染症 5疾患、四類感染症 44疾患、五類感染症 49疾患(全数 24疾患、定点把握 25疾患)、新型インフルエンザ等感染症 4疾患、感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症が1疾患の計117疾患です。

情報収集は患者を診断した医師からの届出によるものであり、一類から五類の全数把握感染症については市内の全医療機関、五類の定点把握感染症及び疑似症については延べ148箇所の指定届出機関(インフルエンザ定点 69、小児科定点 43、眼科定点 10、STD定点 13、基幹定点 1及び疑似症定点 13からなる)の協力を得ています(令和4年12月末現在)。

市内医療機関から届出された感染症情報は医療衛生企画課を経由して入手・収集し、国へ伝達するとともに京都市感染症週報及び月報、緊急情報等によって、感染症情報の解析結果を医療衛生企画課、指定届出機関(定点の医療機関)、京都府医師会及び教育委員会等にインターネットやFAXで提供・還元しています。

また、電子メール配信サービスを通じても感染症情報を提供しており、

「医療従事者向け京都市感染症情報」(配信登録アドレスは下記。登録には別途ログインIDとパスワードが必要)

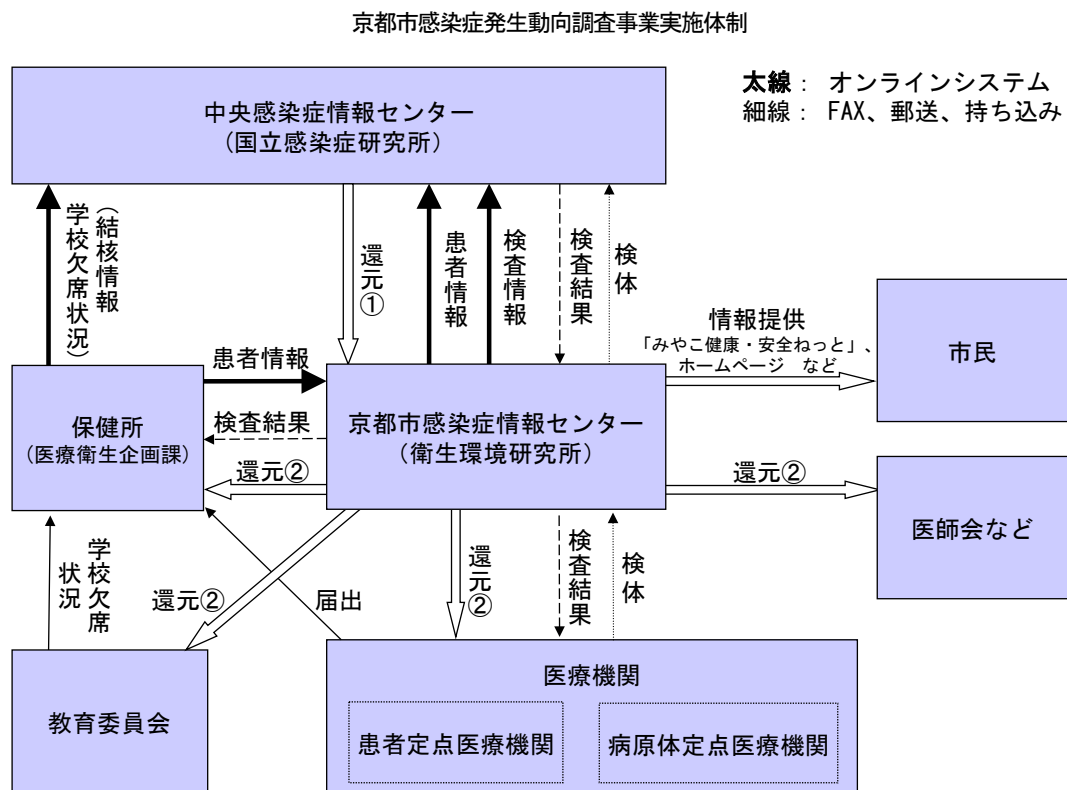
(<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000179736.html>)、

「健康危機管理情報電子メール配信(みやこ健康・安全ねっと)」(配信登録アドレスは下記)

(<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000023349.html>)

により行っています。

さらに、医療衛生企画課や衛生環境研究所のホームページにも感染症情報を掲載しています。



還元① 国の「感染症週報/月報」及び全国の患者情報のデータ、検査情報のデータ

還元② 「京都市週報/月報」、「京都市こどもの感染症」及び国の「感染症週報/月報」

(2) トピックス

ア 令和4年 新型コロナウイルス感染症のまとめ

図1 本市と全国における令和4年第1週～令和5年20週までの人口10万人あたりの報告数

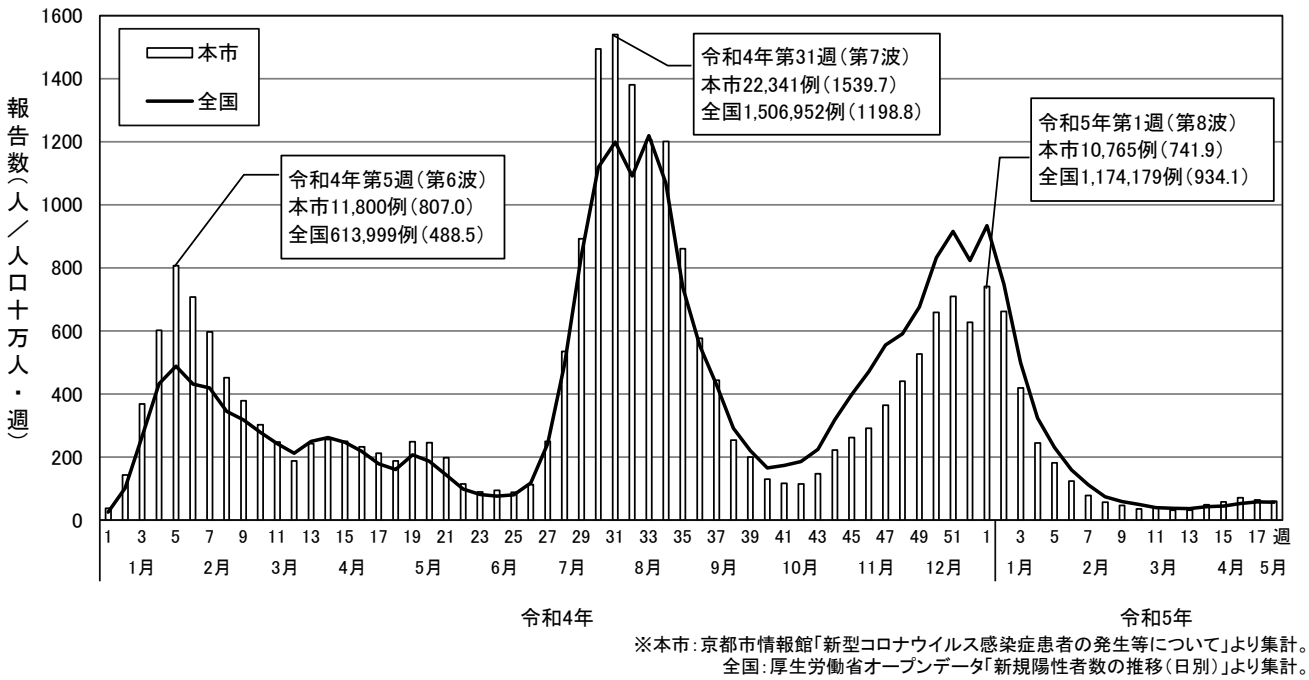
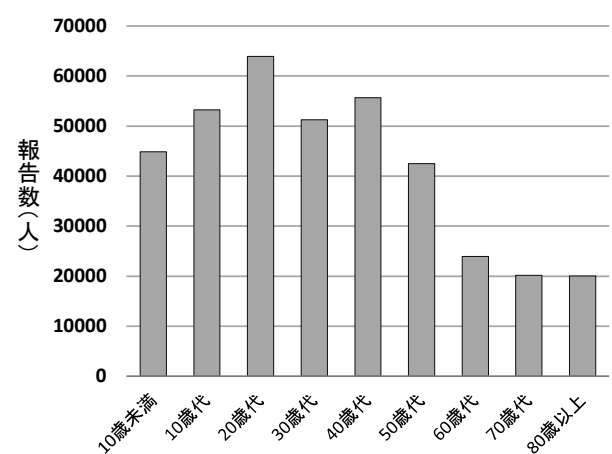
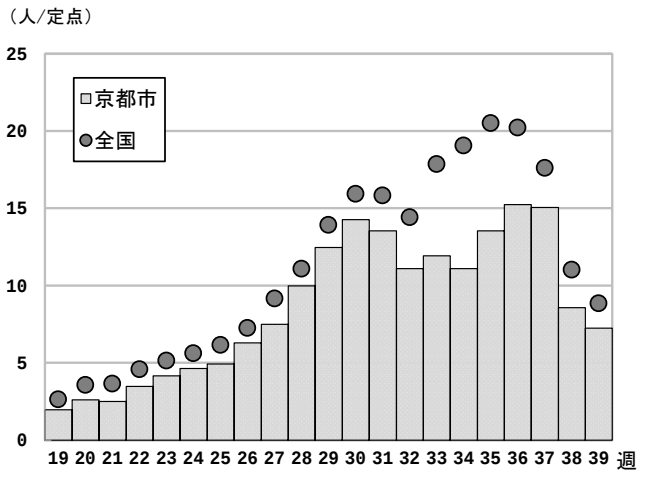


図2 本市の年齢階級別の報告数(n=375,558)



※図2の観察期間は令和4年第1週～令和5年第18週である。年齢が不明である11例を除く。

図3 令和5年第19週以降の定点当たり報告数の推移



イ 令和4年 インフルエンザのまとめ

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

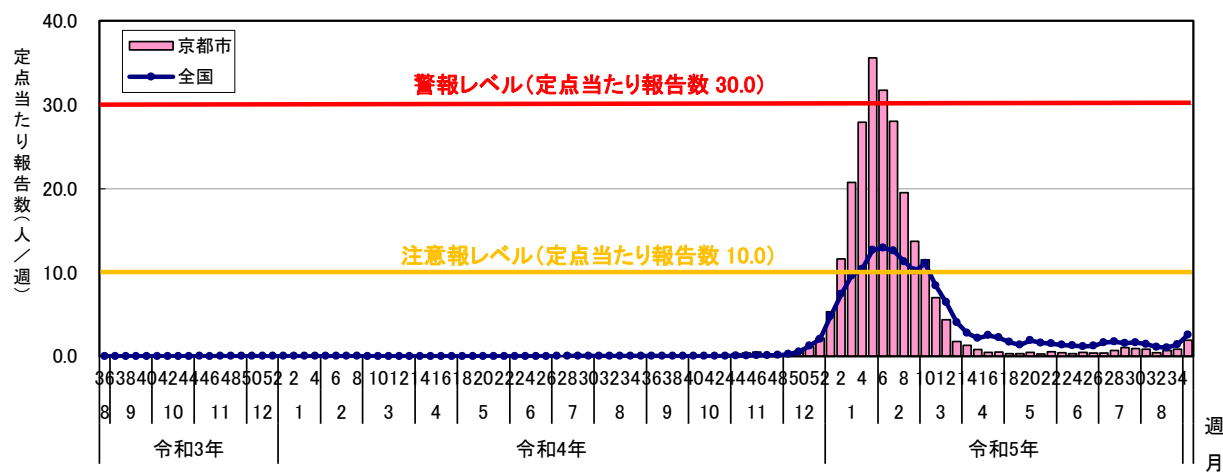


図2 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移(過去5年分)

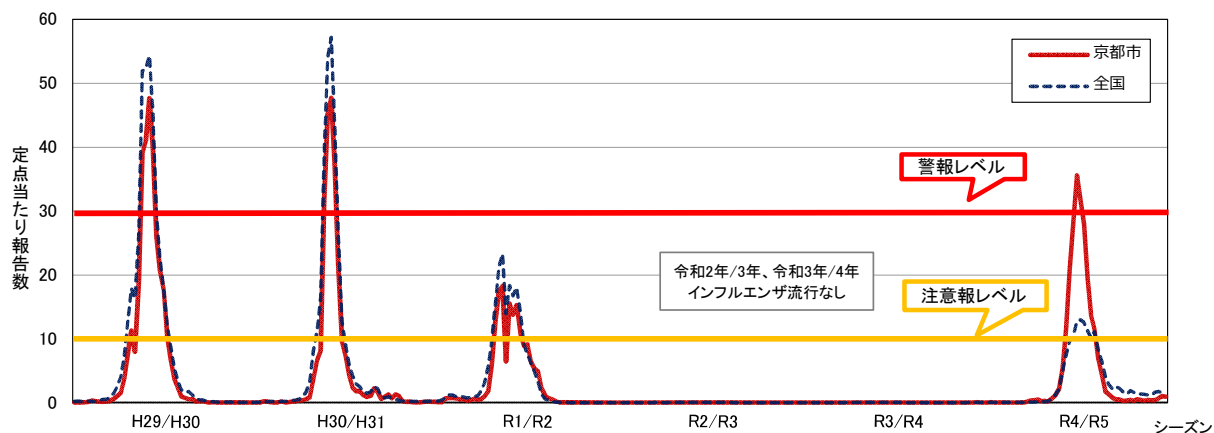


図3 京都市及び全国の年齢階級別割合

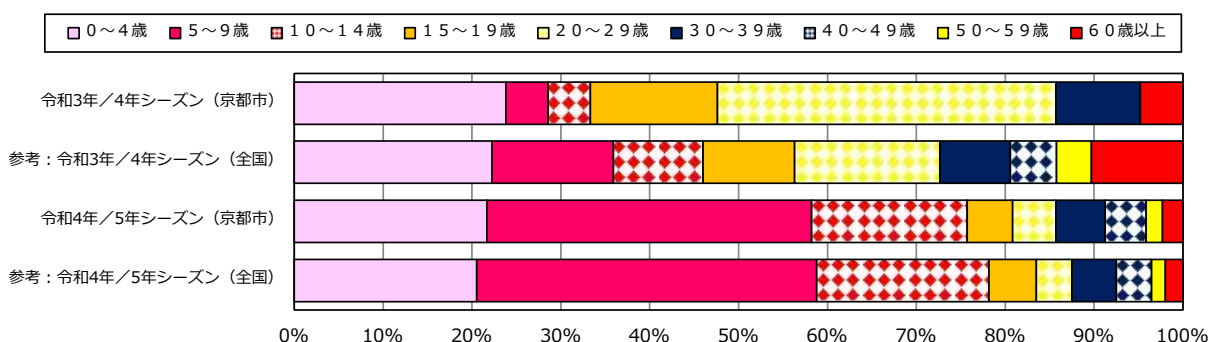
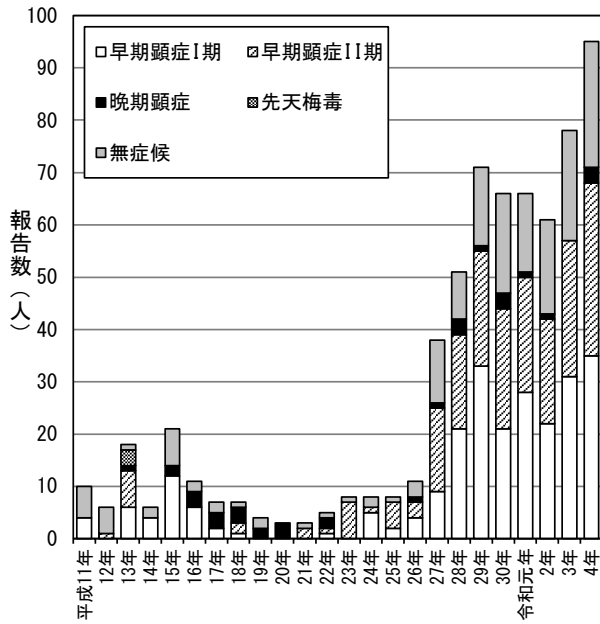


表1 京都市の過去5シーズンの流行状況

シーズン	H29/H30	H30/H31	R1/R2	R2/R3	R3/R4	R4/R5
「1.0」を上回った週	第48週	第51週	第48週			第51週
ピーク時の 定点当たり報告数 (ピークの週)	47.64 (第5週)	47.71 (第4週)	18.28 (第52週)	0.03 (第4週)	0.09 (第33週)	35.58 (第5週)
「10」を下回った週	第11週	第7週	第6週			第11週

ウ 令和4年 梅毒のまとめ

図1 京都市における梅毒の年間報告数の推移



※平成11年及び14～17年は早期顕症をI期とII期に区別していないため、便宜的にI期として示した。

図2 全国における梅毒の年間報告数の推移

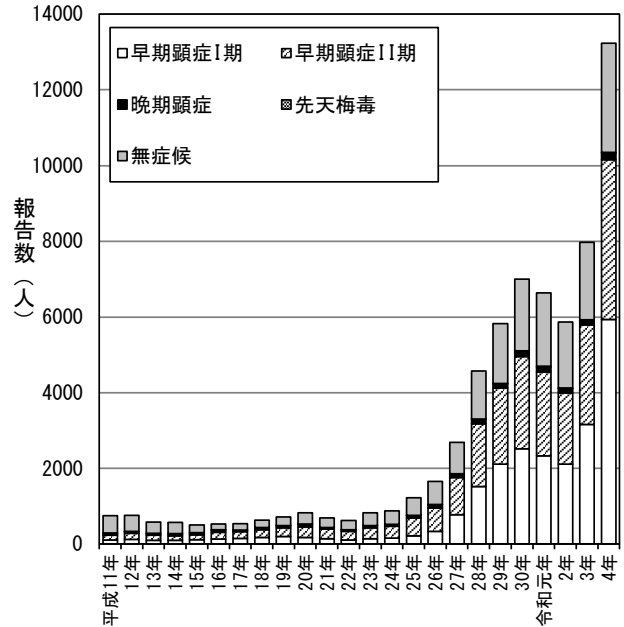


図3 京都市における梅毒の年齢構成比の推移

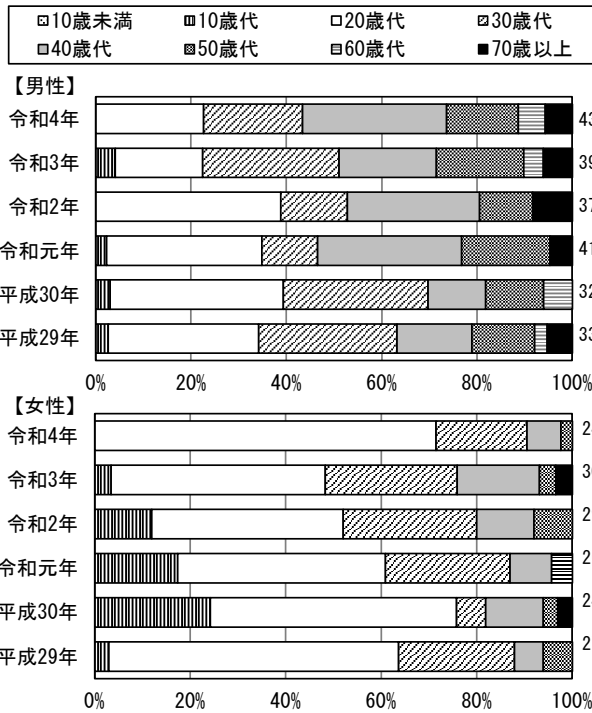
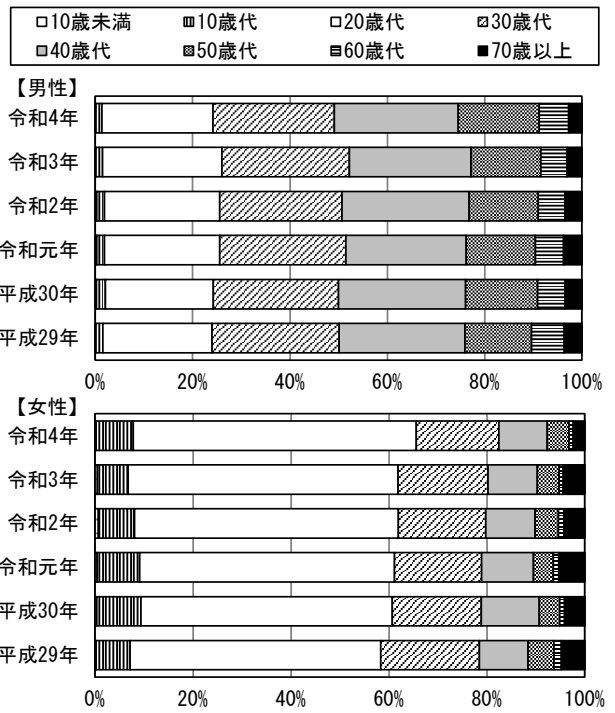


図4 全国における梅毒の年齢構成比の推移



※本市のカラム外側には、年齢中央値を示した。

(3) 全数把握対象感染症（1類～5類感染症の一部）の概況

《表-1-1》全数把握対象感染症の診断年別報告数の年次推移

全数把握対象感染症		診断年 ^(注1)										
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
二類	結核	452	379	431	344	337	372	339	330	261	251	215
	肺結核	209	219	239	187	190	185	171	166	132	100	107
	その他の結核	243	160	192	157	147	187	168	164	129	151	108
三類	細菌性赤痢	1	4	1	3		2	2	1	1	0	1
	フレキシネル	1	3	1			1		1	1		1
	ソンネ		1		3		1	2				
	腸管出血性大腸菌感染症	27	46	35	26	29	23	32	43	22	34	23
	O6										1	
	O8								1			1
	O26		6	6		3		12		3	1	2
	O69				1							
	O78			1								
	O86											
	O91							1	1			
	O103			3	1				19	1	1	
	O111				1							
	O115										1	
	O121							1				
	O128								1			1
	O145	1	7			2		1	1	2		
	O146						3	1	1			
	O157	23	33	24	20	23	20	13	17	14	25	16
	O165	1			1							
	不明	2		1	2	1		3	2	2	5	3
	腸チフス		3	2	1	3	1		1			
	バラチフス	1	2	1								
四類	E型肝炎			1		1	1	2	2	2	1	1
	A型肝炎	1	2	3		3	4	14	7			1
	オウム病						1		1	1		
	コクシジオイデス症											1
	重症熱性血小板減少症候群		(注2)			1						
	チクングニア熱			1								
	デング熱	7	11	5	11	5	5	3	9			2
	デング熱	6	9	5	11	5	5	3	9			2
	デング出血熱	1	2									
	日本紅斑熱				1		1		3	2		
	日本脳炎								1			
	マラリア	2	1	3		3	4	1	1	1		1
	三日熱			1						1		
	四日熱								1			1
	熱帯熱	2	1	1		3	3	1				
	不明			1			1					
	ライム病	1										
	レジオネラ症	7	8	16	28	17	17	29	33	14	19	25
	肺炎型	7	7	16	28	17	17	28	31	12	19	19
	ボンティアック熱型		1					1	2	2		6
	レプトスピラ症					1	1					
五類	アメーバ赤痢	15	13	16	22	21	19	20	12	8	8	10
	腸管アメーバ症	12	13	15	19	20	15	18	11	7	6	10
	腸管外アメーバ症	2			3	1	2	2	1	1		
	腸管及び腸管外アメーバ症	1		1			2				2	
	ウイルス性肝炎	1	8	3	1	3	1	5	3	1	2	2
	B型肝炎		7	3	1	3	1	5	2	1	1	2
	C型肝炎		1						1			
	その他	1									1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症			(注4)	9	34	30	35	47	44	38	41
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)							(注6)	3	1		
	急性脳炎	4		1	3	8	3	2	5	4		3
	クリプトスポリジウム症											
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2		3	2	3	4	4	2	5	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6		4	2	6	9	7	9	11	10	11
	後天性免疫不全症候群	9	19	15	14	16	19	18	15	14	4	4
	無症候性キャリア	5	11	7	7	6	6	9	12	3	1	3
	AIDS	4	5	4	6	5	9	6	3	9	3	1
	その他		3	4	1	5	4	3		2		
	ジアルジア症	1	1	2		4	1		2			1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		(注3)	2	3	6	10	3	7	9	5	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症		(注3)			1	4		1	1		
	侵襲性肺炎球菌感染症		(注3)	15	40	51	77	63	73	73	25	19
	水痘(入院例に限る)			(注4)	2	1	3	2	3	8	2	1
	梅毒	8	8	11	38	51	71	66	66	61	78	95
	早期顕症：Ⅰ期	5	2	4	9	21	33	21	28	22	31	35
	早期顕症：Ⅱ期	1	5	3	16	18	22	22	22	20	26	33
	晩期顕症			1	1	3	1	3	1	1		3
	無症候	2	1	3	12	9	15	19	15	18	21	24
	播種性クリプトコックス症			(注4)		1	2	2	1	2	5	3
	破傷風	1		1	1		1	1		1		2
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3			1	1	2			1	4	3
	百日咳							(注5)	87	113	19	4
	風しん	26	210	1	1				14	11		
	麻疹	1	3	4		2	1	1	2			
	薬剤耐性アシネトバクター感染症			(注4)		1	7					1
(注7)	新型コロナウイルス感染症								(注8)	3,550	22,069	
											331,709	

(注1) 診断年月日での集計結果であり、過去の事業報告書の結果とは異なる部分がある。
(注2) 平成25年3月から全数把握対象の四類感染症に追加された。
(注3) 平成25年4月から全数把握対象の五類感染症に追加された。
(注4) 平成26年9月から全数把握対象の五類感染症に追加された。
(注5) 平成30年1月から全数把握対象の五類感染症に追加された。
(注6) 平成30年5月から全数把握対象の五類感染症に追加された。
(注7) 分類名は、「新型コロナウイルス感染症」である。
(注8) 新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))は、令和2年2月1日から指定感染症に定められ、令和3年2月13日から新型コロナウイルス感染症に追加された。

《表-1-2》全数把握対象感染症の診断月別報告数

全数把握対象感染症			合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
二類	結核		215	19	19	14	30	14	23	14	23	9	14	18	18
		肺結核	107	5	10	10	21	6	9	7	8	5	9	7	10
		その他	108	14	9	4	9	8	14	7	15	4	5	11	8
三類	細菌性赤痢		1					1							
		フレキシネル	1					1							
	腸管出血性大腸菌感染症		23	1			2		5	3	3	2	3	3	1
		O8	1							1					
		O26	2						2						
		O128	1				1								
		O157	16	1			1		2	1	3	2	2	3	1
		不明	3						1	1			1		
	E型肝炎		1									1			
	A型肝炎		1	1											
四類	コクシジオイデス症		1										1		
	デング熱		2						1	1					
		デング熱	2						1	1					
	マラリア		1									1			
		四日熱	1									1			
	レジオネラ症		25	1	1	6	1	3	2	3	1	2	2	3	
		肺炎型	19	1	1	5	1	3	2	1	1	1	1	2	
		ポンティアック型	6			1				2		1	1	1	
	アメーバ赤痢		10	1		1	2	1		2	1				2
		腸管アメーバ症	10	1		1	2	1		2	1				2
五類	ウイルス性肝炎		2								2				
		B型	2								2				
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		41	1	3	4	4	3	3	6	5	3	3	3	3
	急性脳炎		3					2						1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2			1							1		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11			1	1	1	1	2	2		1		2
	後天性免疫不全症候群		4				1				2			1	
		無症候性キャリア	3				1				2				
		AIDS	1											1	
	ジアルジア症		1										1		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		5						1	2			1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症		28	4	1	1		5	3		1	2	2	3	6
	水痘(入院例に限る)		3					1	1						1
	梅毒		95	6	9	9	10	8	9	3	8	5	9	11	8
		早期顕症: I 期	35	2	2	2	5	6	2		3	2	5	3	3
		早期顕症: II 期	33	3	4	4	3	1	3	3	1	3	3	2	3
		晩期顕症	3			1		1	1						
		無症候	24	1	3	2	2		3		4		1	6	2
	播種性クリプトコックス症		3		1							1			1
	破傷風		2		1		1								
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3	1					1		1				
	百日咳		3			1						1		1	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1											1	
	五類感染症 合計		217	13	15	18	19	21	19	15	22	12	18	21	24

《表-1-3》全数把握対象感染症の行政区別報告数

全数把握対象感染症			合計	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京
二類	結核		215	15	8	29	11	4	22	14	15	26	39	32
		肺結核	107	4	3	14	4	4	10	9	10	11	24	14
		その他	108	11	5	15	7	-	12	5	5	15	15	18
三類	細菌性赤痢		1		1									
		フレキシネル	1		1									
	腸管出血性大腸菌感染症		23	1	2	3	5	2	1	1	1	3	2	2
		O8	1									1		
		O26	2				2							
		O128	1							1				
		O157	16	1	2	2	2	1	1		1	2	2	2
		不明	3			1	1	1						
	E型肝炎		1										1	
	A型肝炎		1		1									
	コクシジオイデス症		1		1									
四類	デング熱		2				2							
		デング熱	2				2							
	マラリア		1				1							
		四日熱	1				1							
	レジオネラ症		25		4		6	2	3	2		3	2	3
		肺炎型	19		4		5	2	1	1		2	2	2
		ボンティアック型	6				1		2	1		1		1
	アメーバ赤痢		10		2		2		1		1	1	2	1
		腸管アメーバ症	10		2		2		1		1	1	2	1
	ウイルス性肝炎		2		1								1	
五類		B型	2		1								1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		41		4	13	3			1		6	1	13
	急性脳炎		3			3								
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2		1				1					
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11		2	1			2	3			2	1
	後天性免疫不全症候群		4				2		1					1
		無症候性キャリア	3				1		1					1
		AIDS	1				1							
	ジアルジア症		1											1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		5		1	1			1				2	
	侵襲性肺炎球菌感染症		28		9	1	3	1	1			4	5	4
	水痘(入院例に限る)		3		1		1						1	
	梅毒		95	3	8	8	27	2	4	10	11	12	4	6
		早期顕症: I 期	35	3		2	11	1	2	8	2	4	1	1
		早期顕症: II 期	33		5	1	8	1	2	2	4	5	2	3
		晩期顕症	3			1						1	1	
		無症候	24		3	4	8				5	2		2
	播種性クリプトコックス症		3		1	1			1					
	破傷風		2		1			1						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3				2			1				
	百日咳		3				1	1			1			
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1										1	
	五類感染症 合計		217	3	31	28	41	5	12	15	12	24	19	27

《表-1-4》全数把握対象感染症の性・年齢階級別報告数

全数把握対象感染症		合計	男性																女性																
			男合計	0～	5～	10～	15～	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	65～	70～	75以上	女合計	0～	5～	10～	15～	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	65～	70～
二類	結核	215	131	1				3	3	3	4	4	4	4	4	8	7	11	75	84			1	3	1	3	1	4	5	3	4	3	3	7	46
	肺結核	107	74					1	2	1		2	3	3	2	6	4	7	43	33		1	1		1				1				3	25	
	その他	108	57	1				2	1	2	4	2	1	1	2	2	3	4	32	51				2	1	2	1	3	5	3	3	3	3	4	21
三類	細菌性赤痢	1																	1						1										
	フレキシネル	1																	1							1									
	腸管出血性大腸菌感染症	23	11		1	2	1	3	1		1		1		1				12	1		2	4	1					1			2	1		
	O8	1	1			1																													
	O26	2	1					1											1			1													
	O128	1																	1					1											
	O157	16	8		1	1	1	2	1			1			1				8	1		1	3						1		1	1			
	不明	3	1								1								2				1								1				
四類	E型肝炎	1	1												1																				
	A型肝炎	1																	1					1											
	コクシジオイデス症	1																	1							1									
	デング熱	2	2									1		1																					
	デング熱	2	2									1		1																					
	マラリア	1																	1					1											
	四日熱	1																	1					1											
	レジオネラ症	25	21											1	2	5	2	1	10	4												2	2		
	肺炎型	19	16											1	1	2	2	1	9	3												2	1		
	ボンティアック型	6	5												1	3		1	1	1														1	
五類	アメーバ赤痢	10	9							1	3	1		1	3	1			1									1							
	腸管アメーバ症	10	9							1	3	1		1	3	1			1									1							
	ウイルス性肝炎	2	2				2																												
	B 型	2	2				2																												
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	41	28						1					1	2	1	2	4	17	13						1				1	1	1	1	8	
	急性脳炎	3	3	2		1																													
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	2														1	1	1																
	創症型溶血性レンサ球菌感染症	11	6											1		2	1	1	1	5										1	1		1	2	
	後天性免疫不全症候群	4	4					2						1		1																			
	無症候性キャリア	3	3					2						1																					
	AIDS	1	1													1																			
	ジアルジア症	1																		1							1								
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	5	2												1	1	1	1																
	侵襲性肺炎球菌感染症	28	20	4	1						1			1	1	1	4	7	8	1							1				1		5		
	水痘(入院例に限る)	3	1					1												2					1	1									
	梅毒	95	53					7	5	6	5	5	11	3	5	2	1	1	2	42					22	8	5	3	2	1		1			
	早期顕症:Ⅰ期	35	28					4	3	4	2	1	7	1	3	1	1	1		7					4	1	1		1						
	早期顕症:Ⅱ期	33	14					3		1	2	2	3	1	1	1			19					10	3	2	3		1						
	晩期顕症	3	2											1	1				1						1										
	無症候	24	9					2	1	1		2	1					2	15					8	3	2		1		1					
播種性クリプトкокクス症	3	3										1			1		1																		
破傷風	2	2												1				1																	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3	2												1				1	1														1		
百日咳	3																		3						1				1				1		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1																		1										1						
五類感染症 合計	217	140	8	1	1		9	8	7	6	9	11	8	10	11	8	11	32	77	1				22	9	7	4	3	2	3	3	2	2	2	17

《表-1-5》全数把握対象感染症の感染地域（推定を含む）

全数把握対象感染症			合計	国内	海 外										不明
					海外小計	アメリカ	インドネシア	ウズベキスタン	タイ	中華人民共和国	ネパール	フィリピン	ベトナム	ベナン	
二類	結核		215	128	11	2	3	1	1	1	1	2		76	
	肺結核		107	68	8	2	2		1		1	2		31	
	その他		108	60	3		1	1		1				45	
三類	細菌性赤痢		1	1											
	フレキシネル			1											
	腸管出血性大腸菌感染症		23	19										4	
	O8		1	1											
	O26		2	2											
	O128		1	1											
	O157		16	12										4	
不明		3	3												
四類	E型肝炎		1											1	
	A型肝炎		1		1	1									
	コクシジオイデス症		1		1	1									
	デング熱		2		2					2					
	デング熱		2		2					2					
	マラリア		1		1					1					
	四日熱		1		1					1					
	レジオネラ症		25	19										6	
肺炎型		19	16										3		
ボンティアック型		6	3										3		
五類	アメーバ赤痢*		11	4	2		1	1						5	
	腸管アメーバ症		11	4	2		1	1						5	
	ウイルス性肝炎		2	2											
	B型		2	2											
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		41	38										3	
	急性脳炎		3	3											
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2											2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11	11											
	後天性免疫不全症候群		4	2										2	
	無症候性キャリア		3	2										1	
	AIDS		1											1	
	ジアルジア症		1	1											
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		5	3										2	
	侵襲性肺炎球菌感染症		28	23										5	
	水痘(入院例に限る)		3	3											
	梅毒		95	81	1								1	13	
	早期顕症：Ⅰ期		35	31										4	
	早期顕症：Ⅱ期		33	30										3	
	晩期顕症		3	3											
	無症候		24	17	1								1	6	
	播種性クリプトコックス症		3	3											
	破傷風		2	2											
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3	1										2	
	百日咳		3	2										1	
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	1											
	五類感染症 合計		218	180	3		1	1					1	35	

(*)推定感染地域が複数のため、実際の報告数と合計が異なる。または、複数の推定感染地域を含む。

アメーバ赤痢：海外（タイ及び中華人民共和国）1例

《表-1-6》全数把握対象感染症の感染経路(推定を含む)

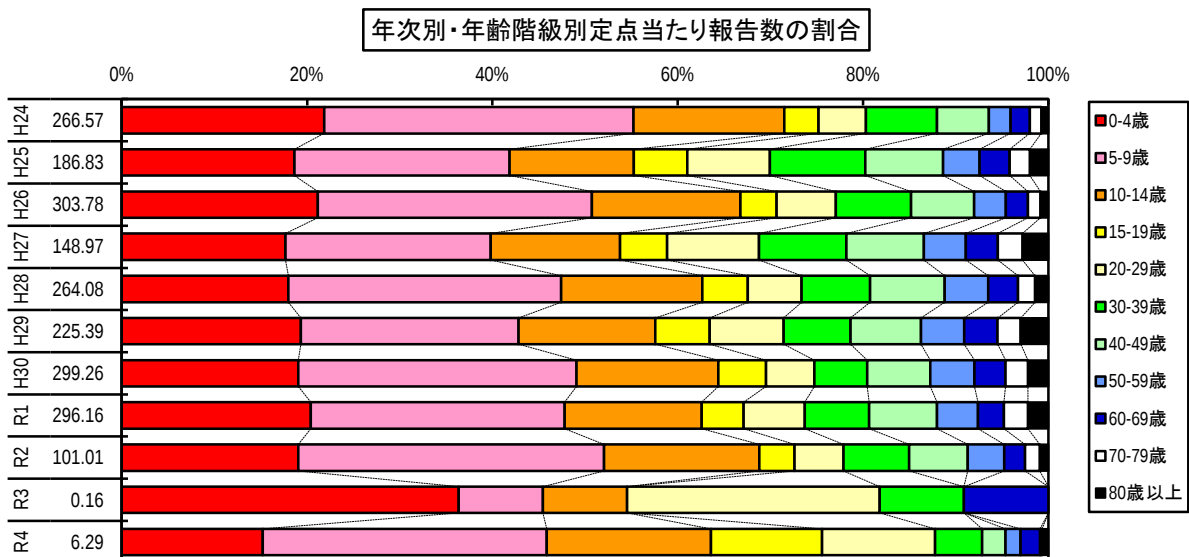
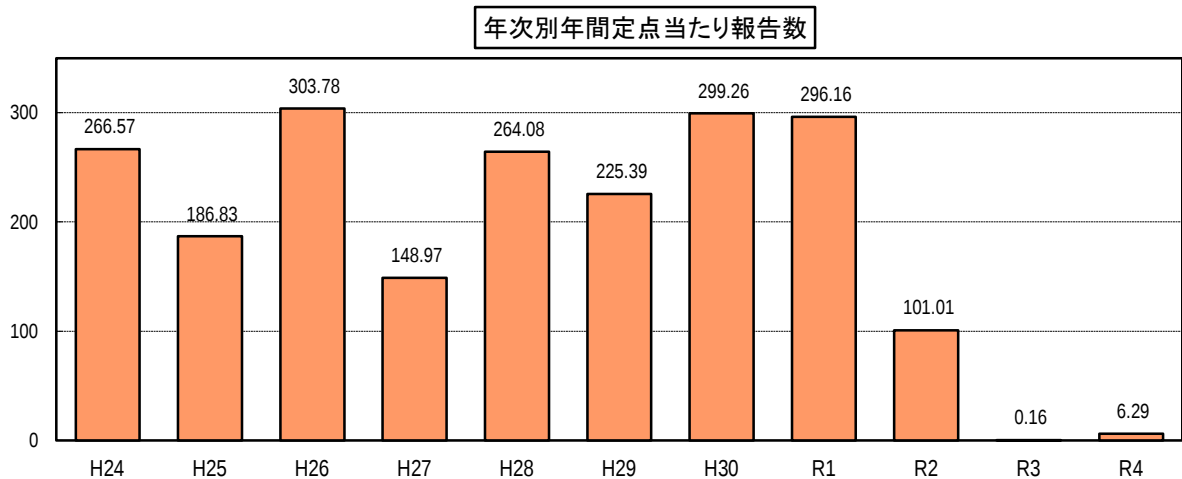
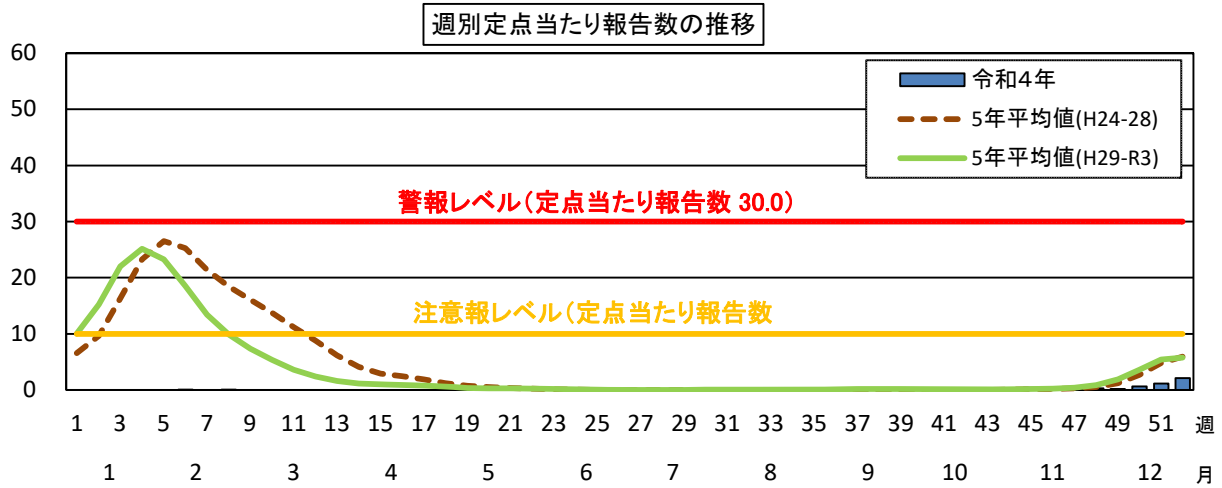
全数把握対象感染症			合計	推定感染経路														
				飛沫・飛沫核	再燃	経口	接触	性的接触	水系	媒介動物	創傷感染	塵埃	医療器具	手術部位	以前からの保菌	家族内感染	院内感染	その他
二類	結核*		216	81	4												5	126
		肺結核	106	39	3												2	62
		その他	110	42	1												3	64
三類	細菌性赤痢		1															1
		フレキシネル	1															1
	腸管出血性大腸菌感染症		23			11	1											11
		O8	1			1												
		O26	2				1											1
		O128	1															1
		O157	16			9												7
		不明	3			1												2
四類	E型肝炎		1															1
	A型肝炎		1			1												
	コクシジオイデス症		1								1							
	デング熱		2						2									
		デング熱	2						2									
	マラリア		1						1									
		四日熱	1						1									
	レジオネラ症		25						5		1						6	13
		肺炎型	19						3		1						6	9
		ボンティアック型	6						2									4
五類	アメーバ赤痢		10					2									3	5
		腸管アメーバ症	10					2									3	5
	ウイルス性肝炎		2					2										
		B 型	2					2										
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		41								9	3	11				7	11
	急性脳炎		3	3														
	クロイツフェルト・ヤコブ病		2															2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		11	1		1			3								3	3
	後天性免疫不全症候群		4					3										1
		無症候性キャリア	3					2										1
		AIDS	1					1										
	ジアルジア症		1														1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		5	1													1	3
	侵襲性髄膜炎菌感染症		－															
	侵襲性肺炎球菌感染症		28	7		1											4	16
	水痘（入院例に限る）		3														2	1
	梅毒		95					89										6
		早期顕症：Ⅰ期	35					33										2
		早期顕症：Ⅱ期	33					32										1
		晩期顕症	3					3										
		無症候	24					21										3
	播種性クリプトコックス症		3														3	
	破傷風		2							1							1	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3			1												2
	百日咳		3															3
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1															1
	五類感染症 合計		217	12		3	96		4		9	3	11				25	54

(*)推定感染経路が複数のため、実際の報告数とは異なる。

(4) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

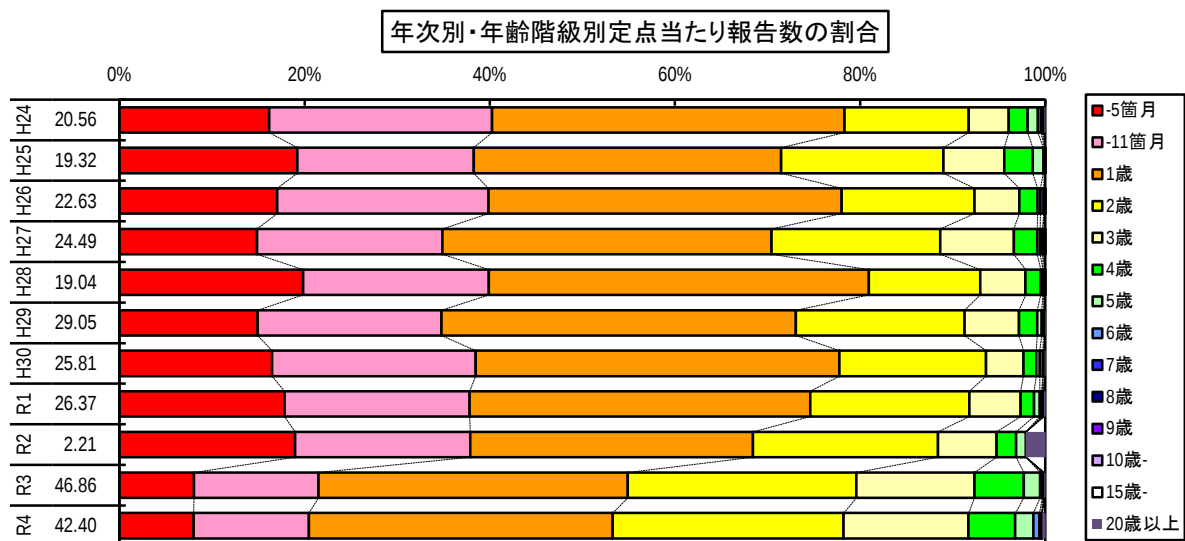
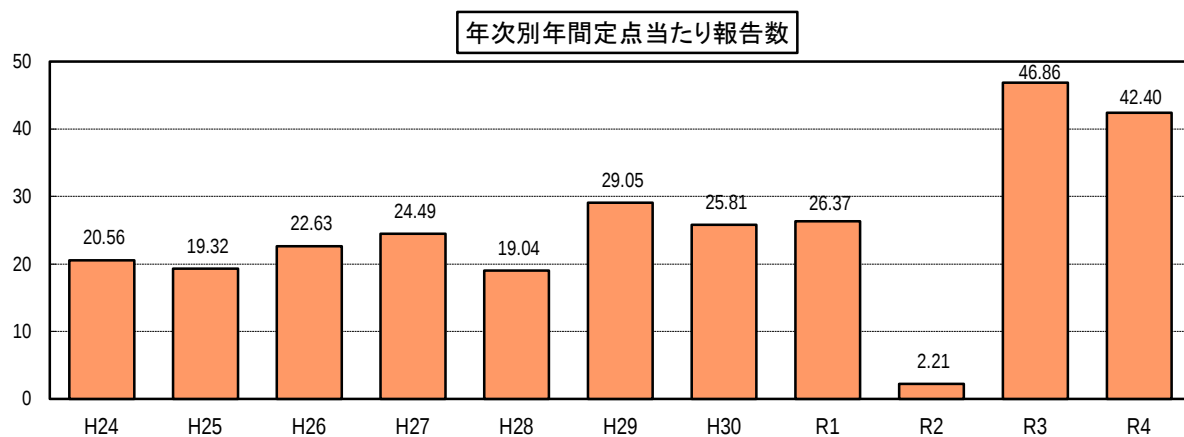
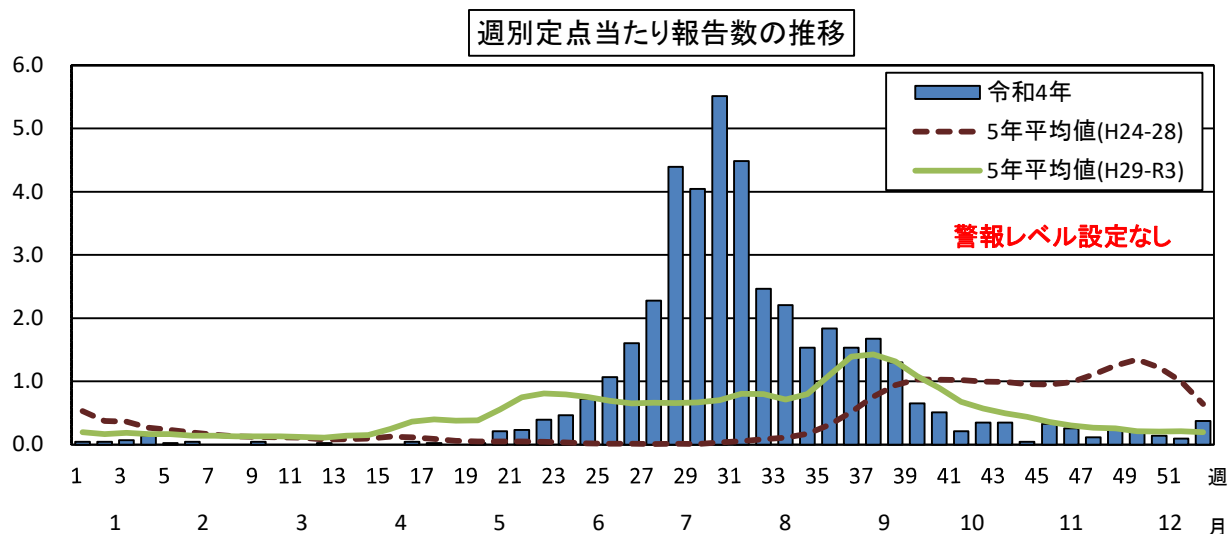
- ・年間報告数:434例(年間定点当たり報告数:6.29)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.03 / 前年比:39.45



イ 小児科定点

(ア) RSウイルス感染症

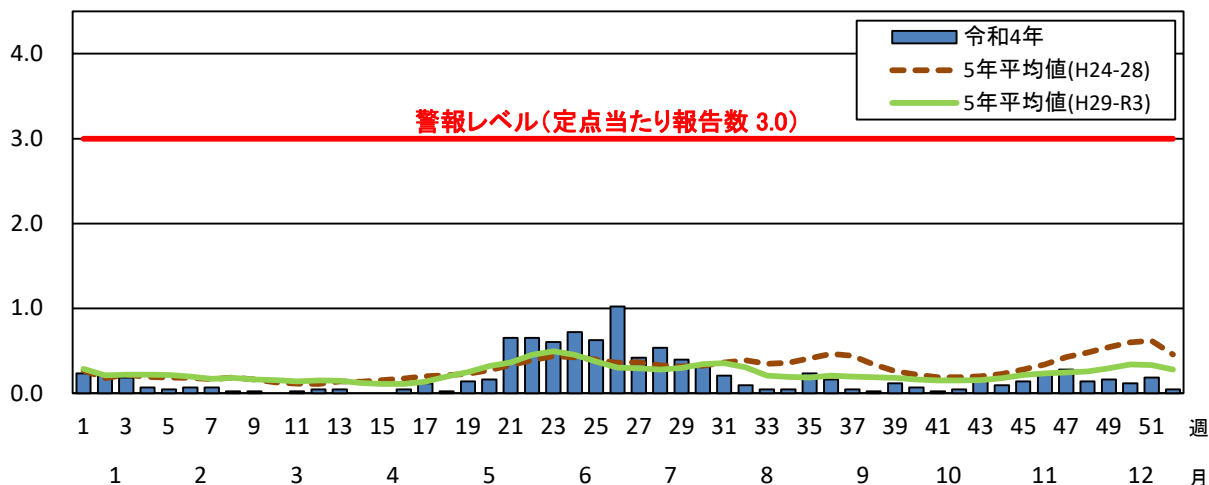
- ・年間報告数:1,823例(年間定点当たり報告数:42.40)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:1.63 / 前年比:0.90



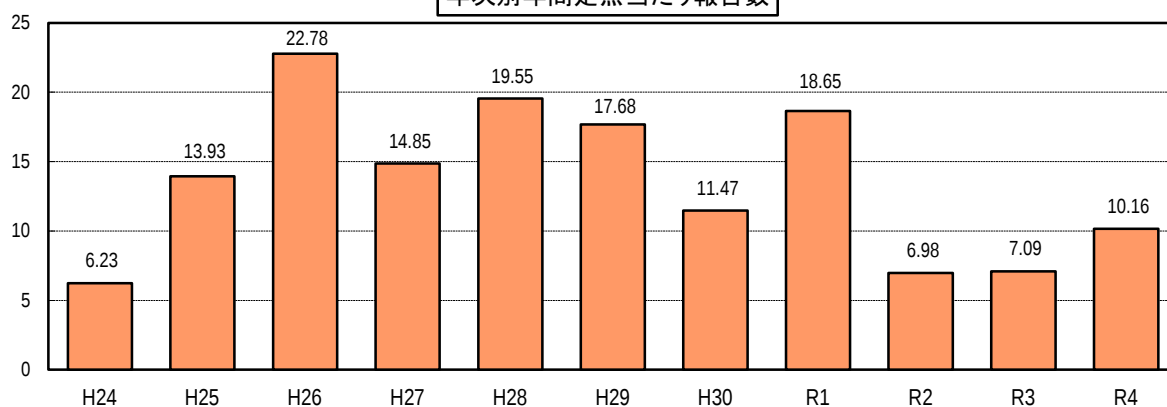
(イ) 咽頭結膜熱

- ・年間報告数:437例(年間定点当たり報告数:10.16)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.82 / 前年比:1.43

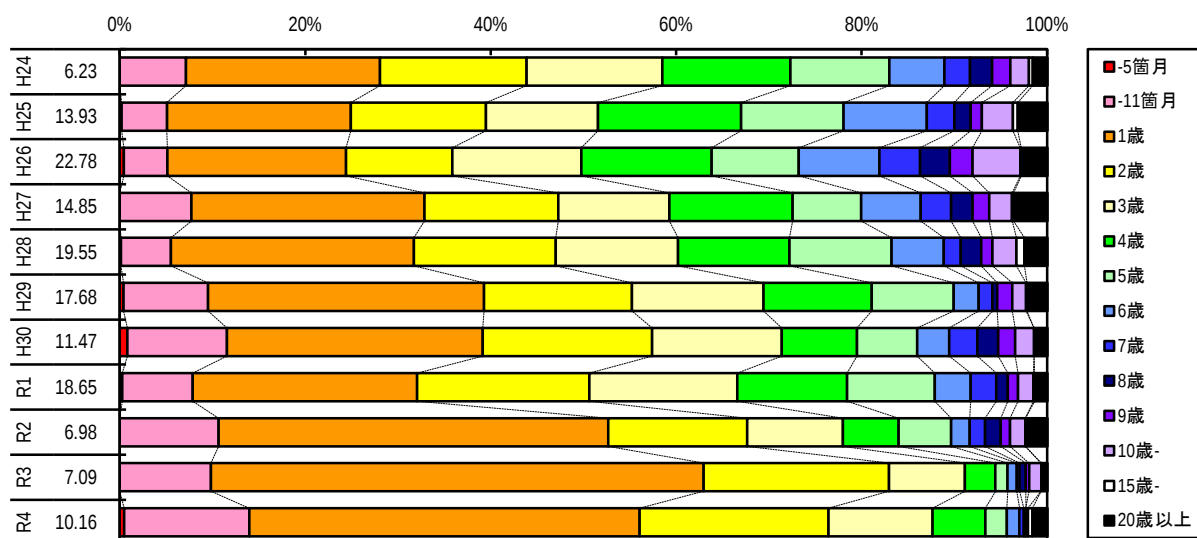
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



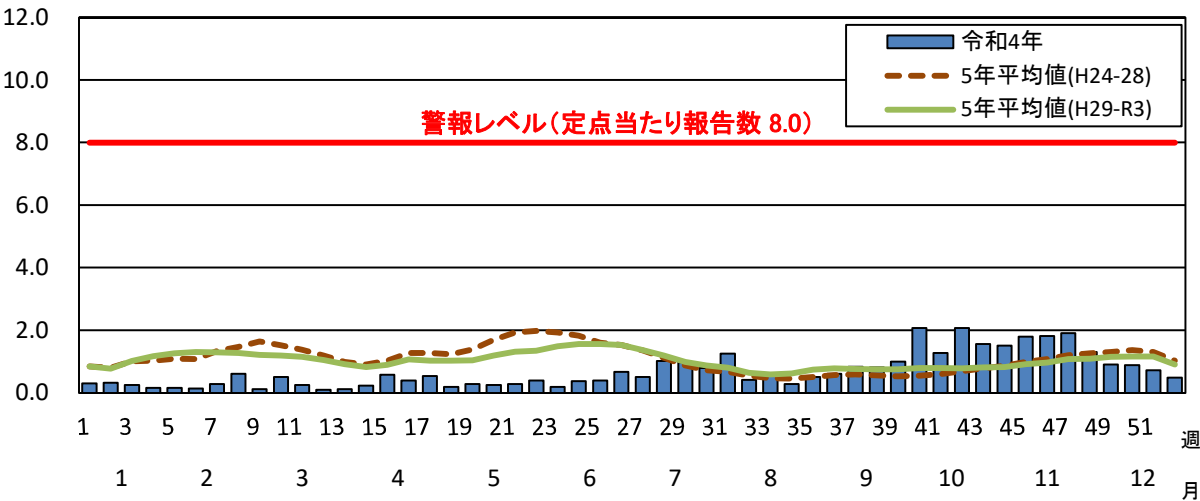
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



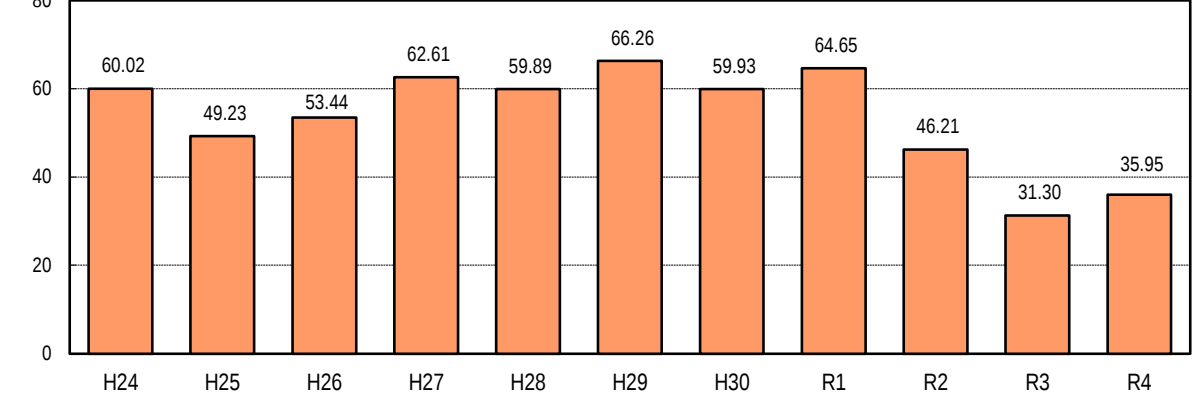
(ウ) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- ・年間報告数:1,546例(年間定点当たり報告数:35.95)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.67 / 前年比1.15

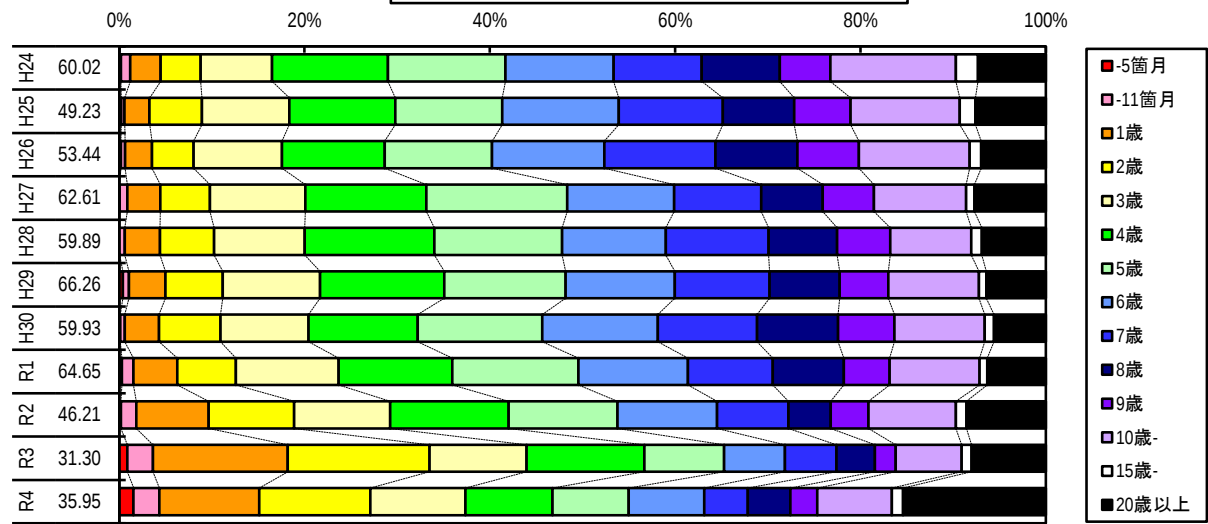
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



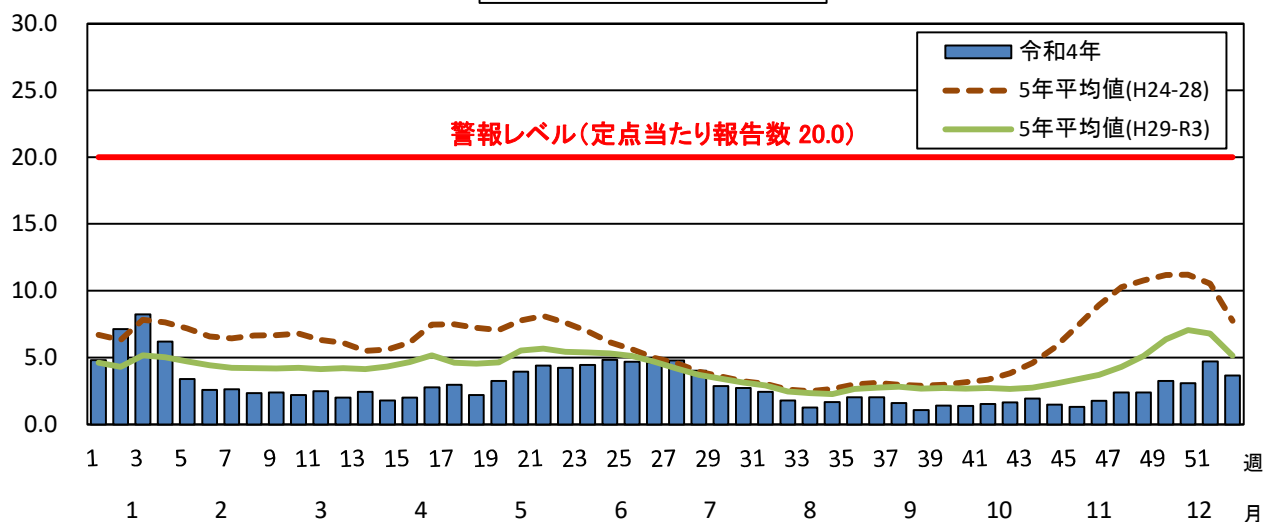
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



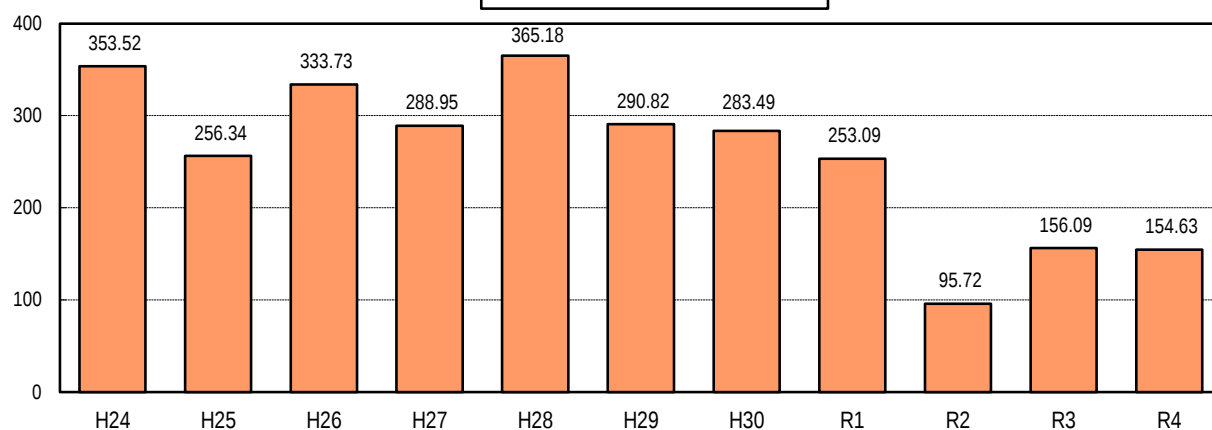
(エ) 感染性胃腸炎

- ・年間報告数:6,649例(年間定点当たり報告数:154.63)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.72 / 前年比0.99

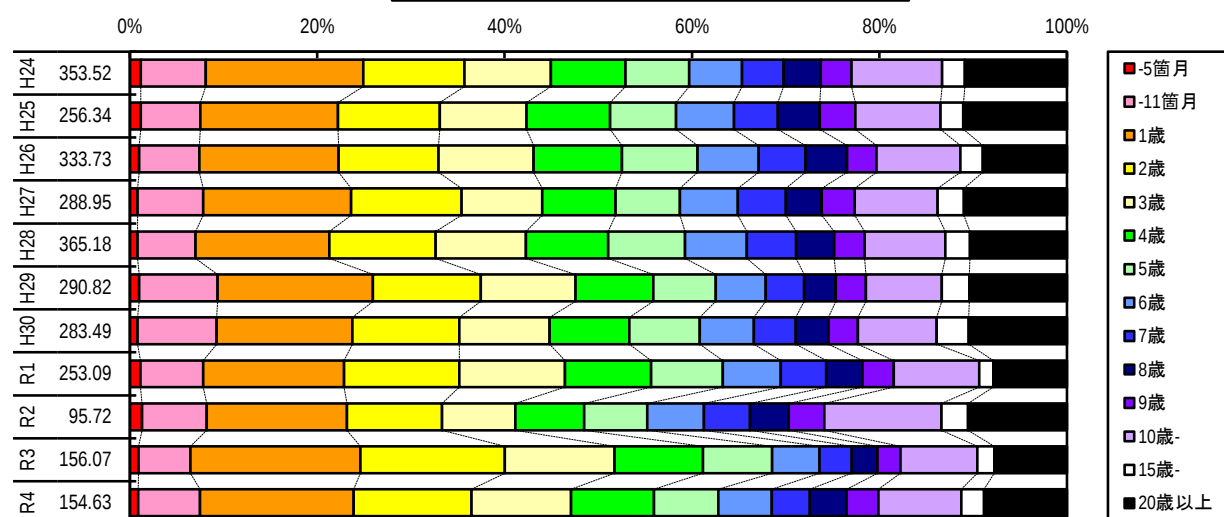
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



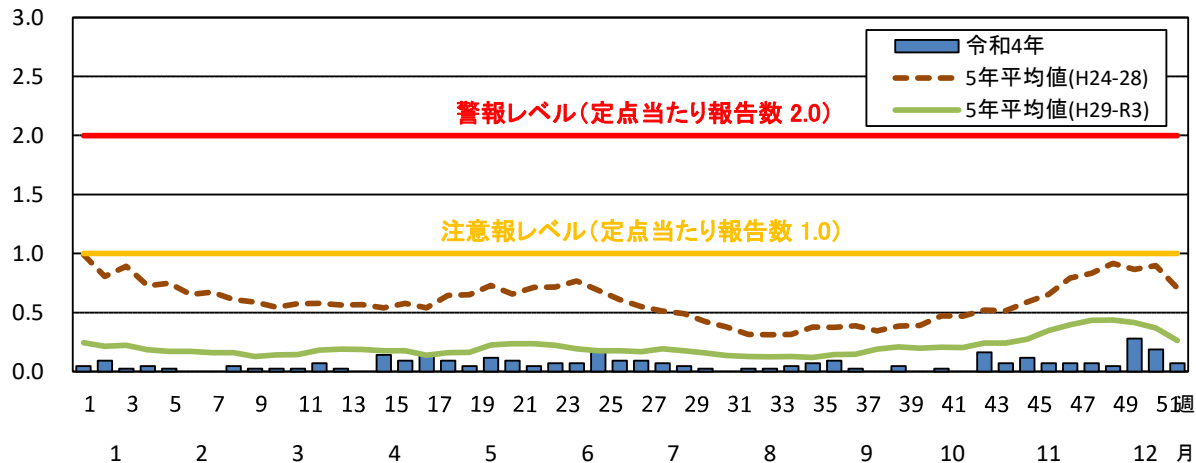
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



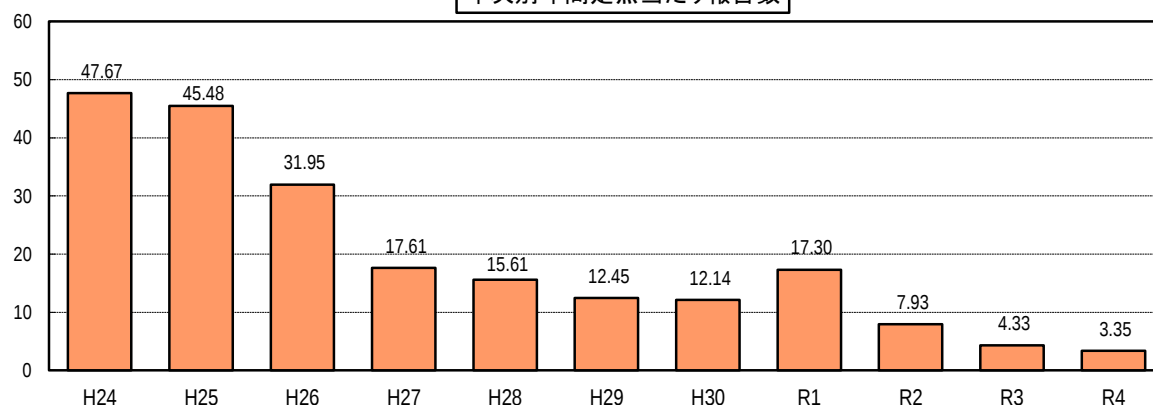
(オ) 水痘

- ・年間報告数:144例(年間定点当たり報告数:3.35)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.31 / 前年比:0.77

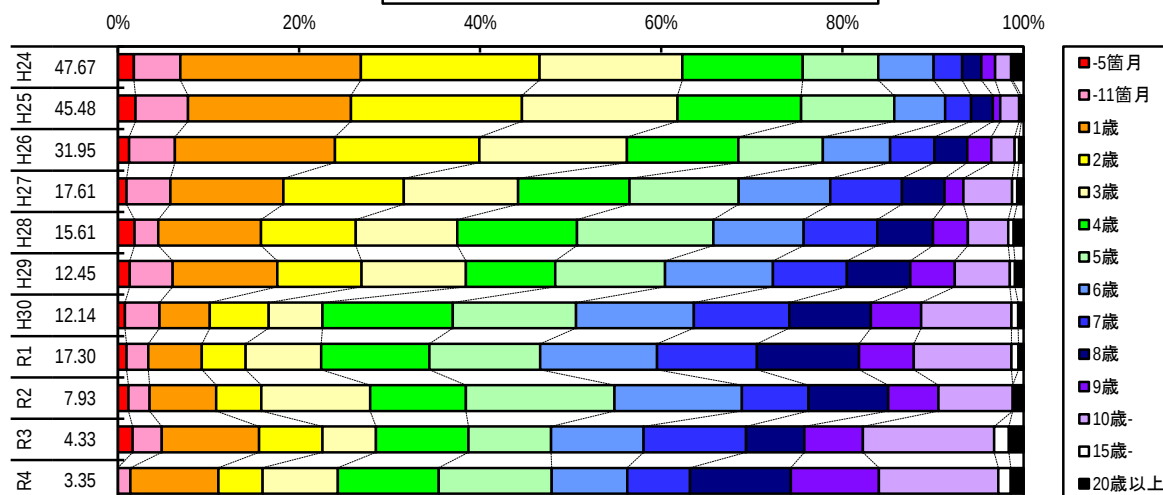
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



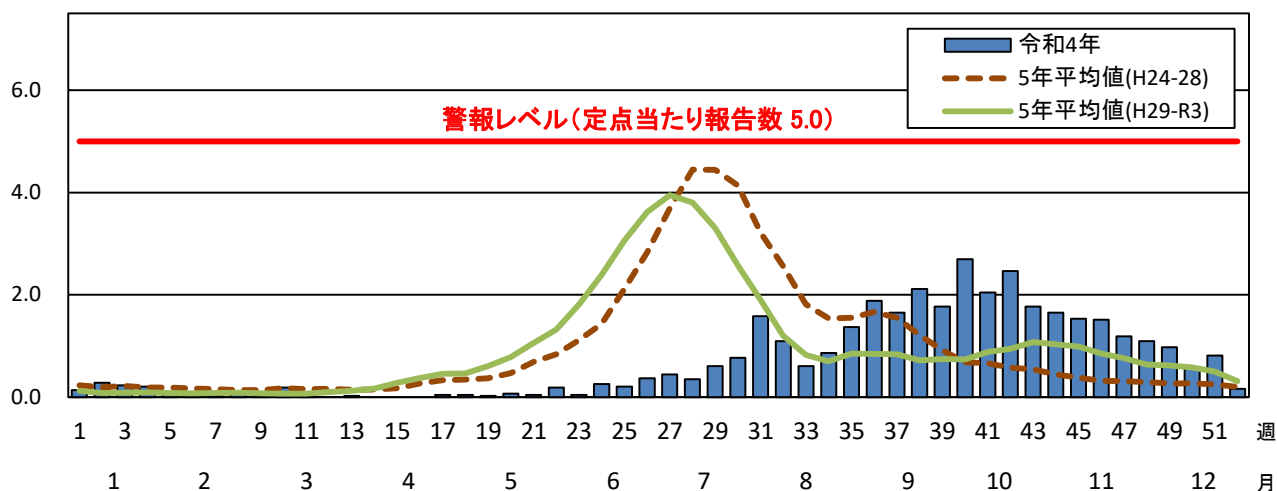
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



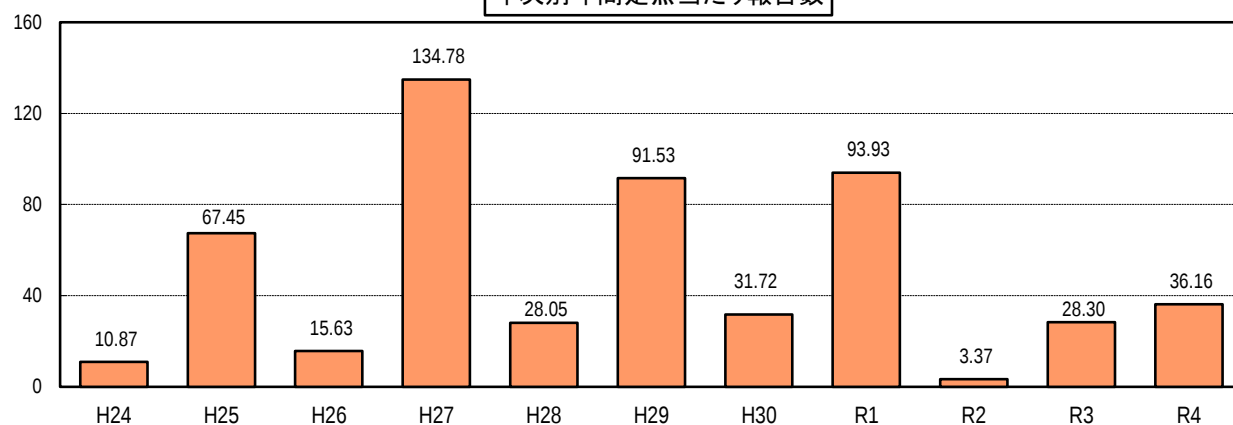
(カ) 手足口病

- ・年間報告数:1,555例(年間定点当たり報告数:36.16)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.73 / 前年比:1.28

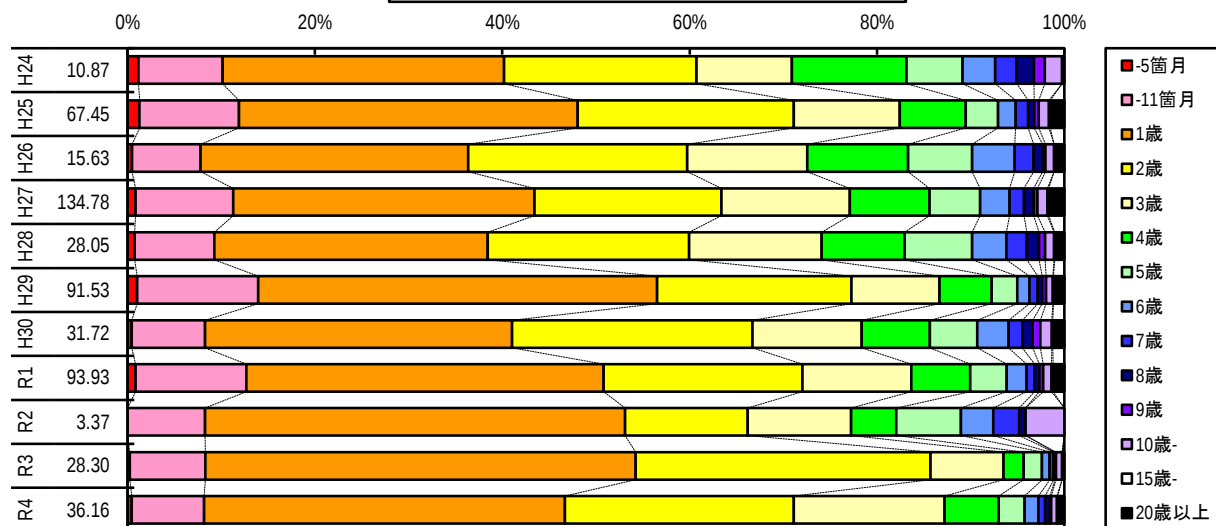
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



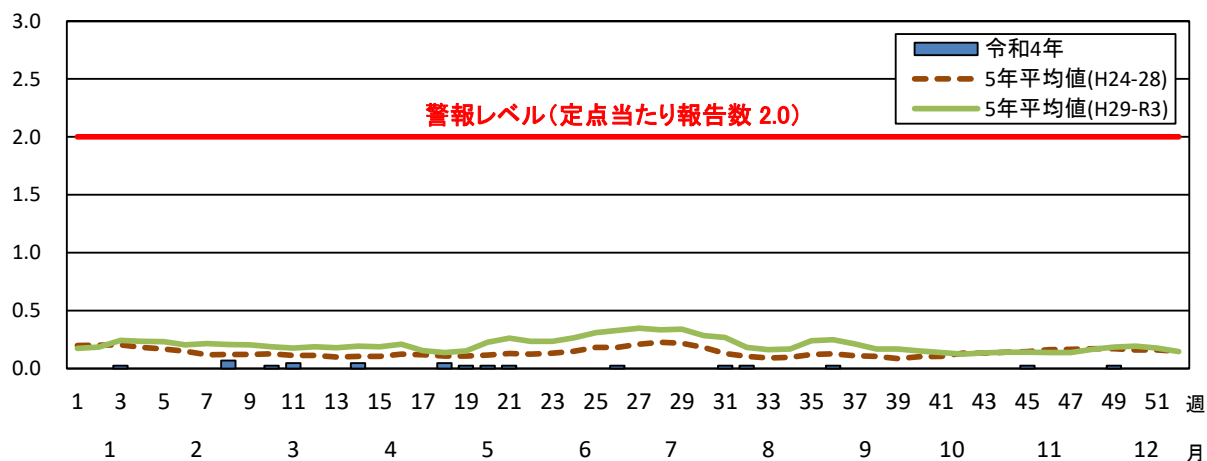
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



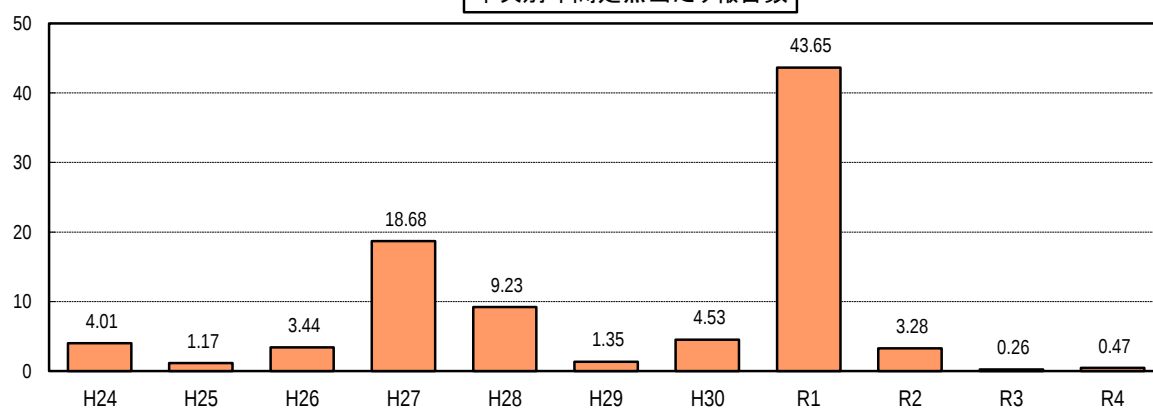
(キ) 伝染性紅斑

- ・年間報告数:20例(年間定点当たり報告数:0.47)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.04 / 前年比1.82

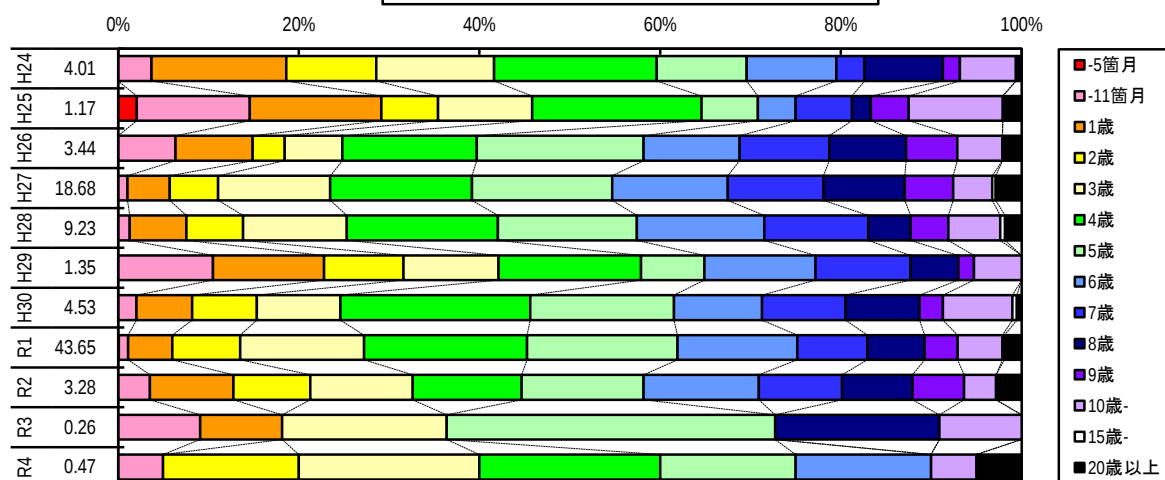
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



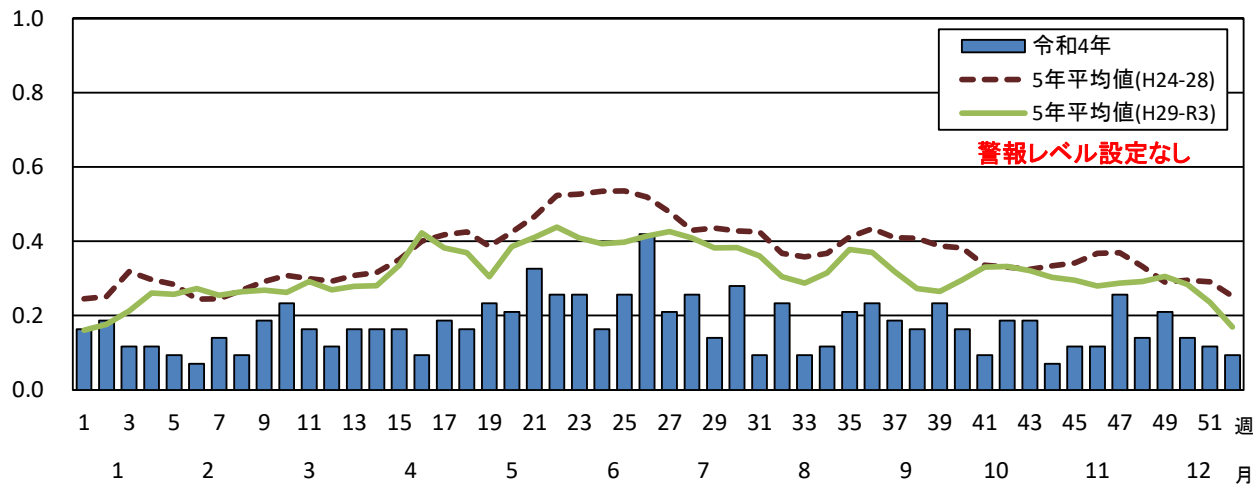
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



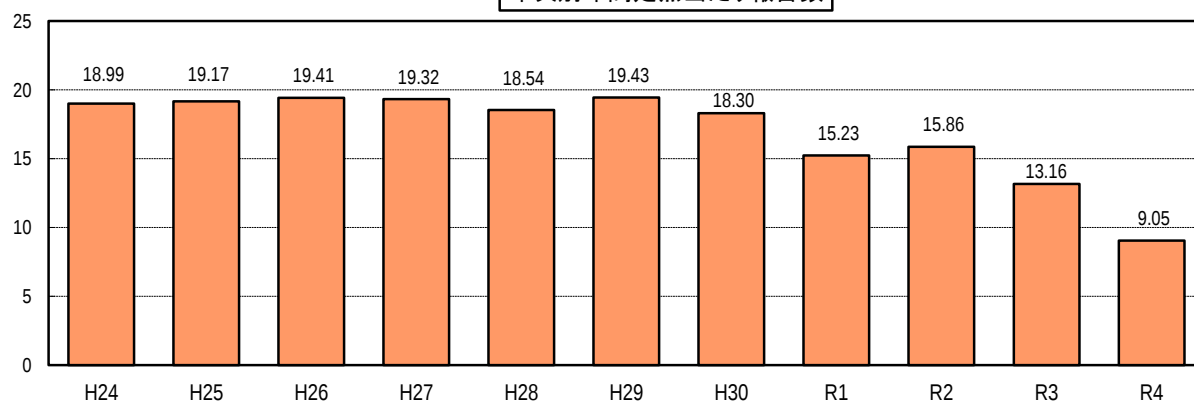
(ク) 突発性発しん

- ・年間報告数:389例(年間定点当たり報告数:9.05)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.55 / 前年比0.69

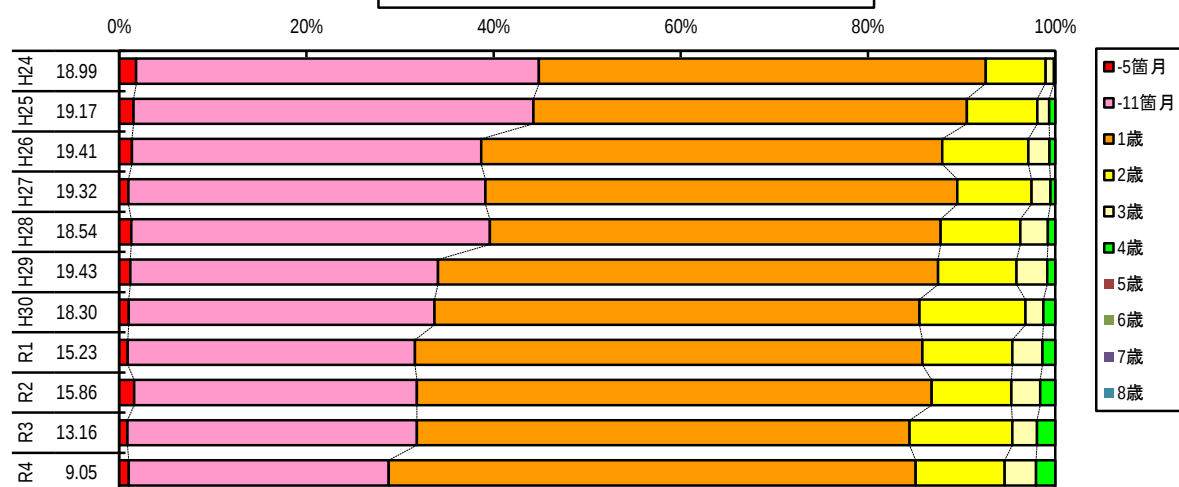
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数

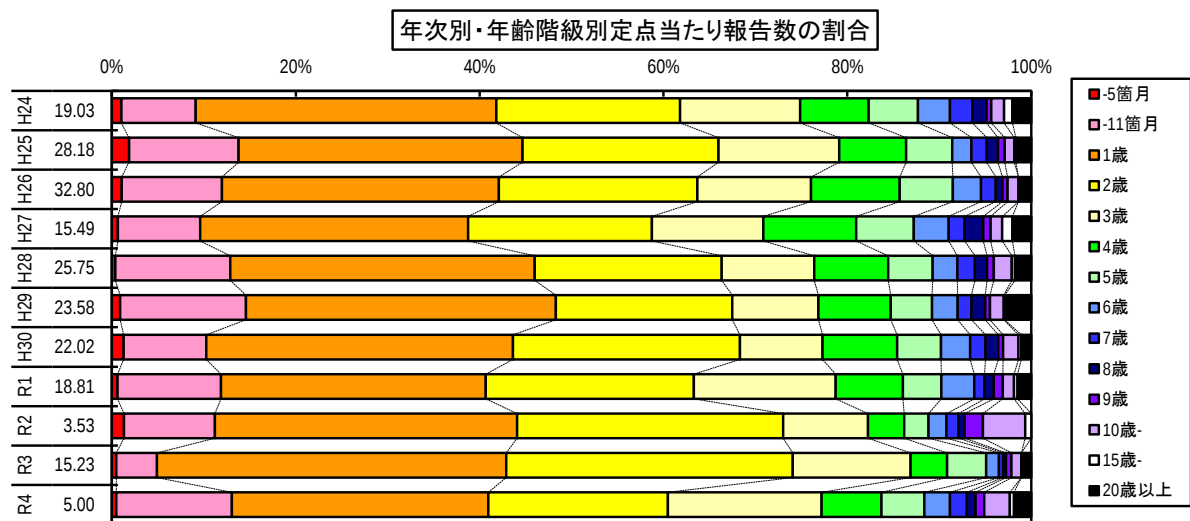
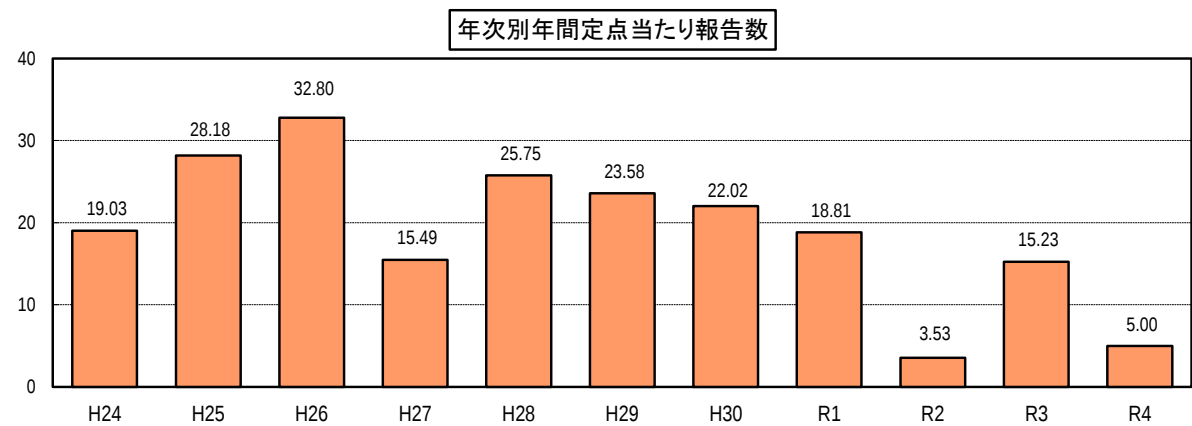
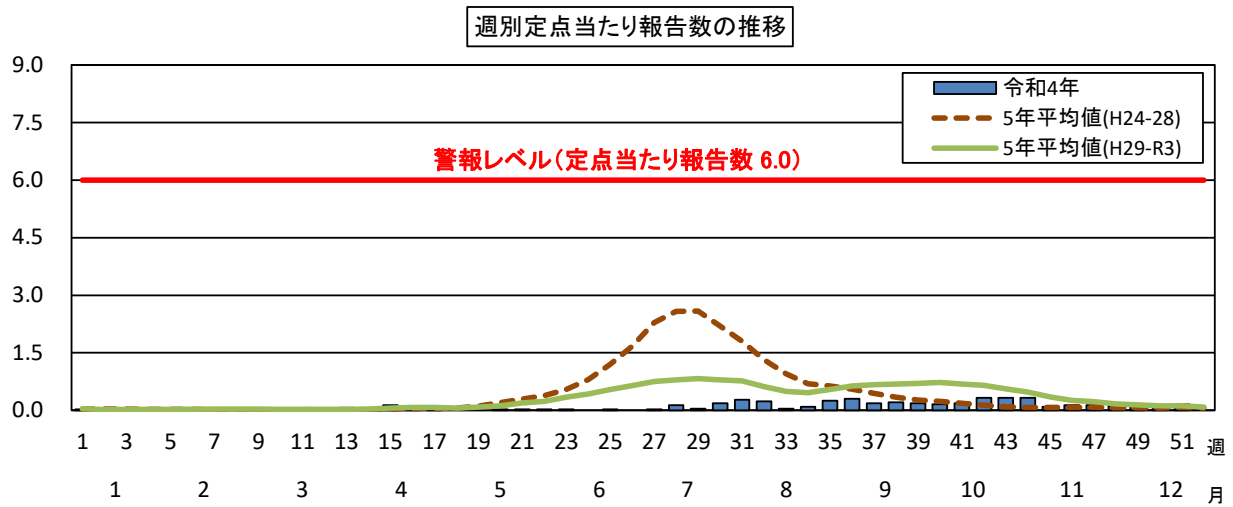


年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(ケ) ヘルパンギーナ

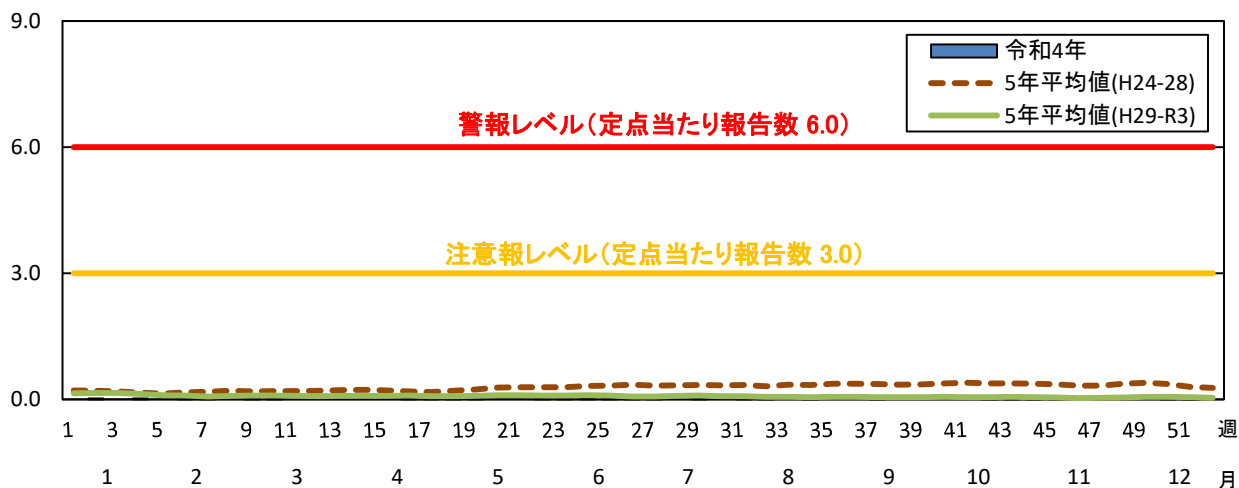
- ・年間報告数215例(年間定点当たり報告数:5.00)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.30 / 前年比0.33



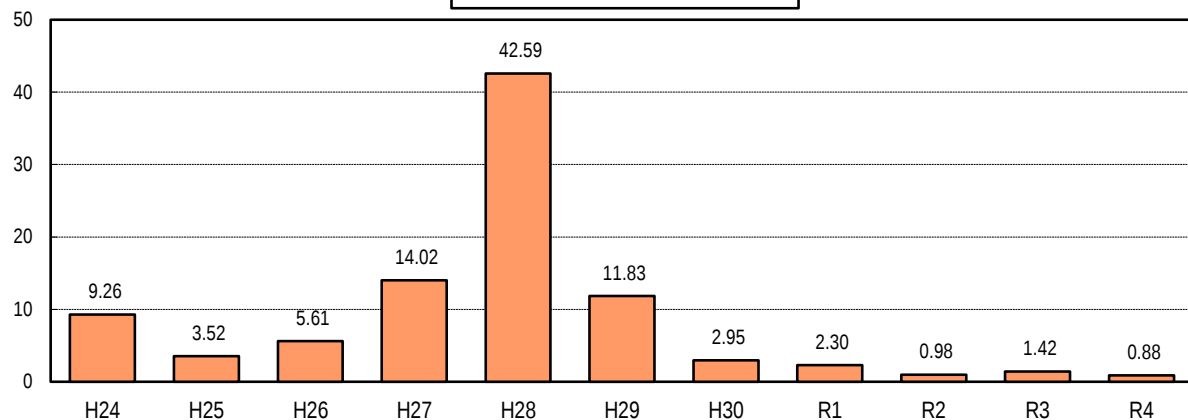
(コ) 流行性耳下腺炎

- ・年間報告数:38例(年間定点当たり報告数:0.88)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.23 / 前年比:0.62

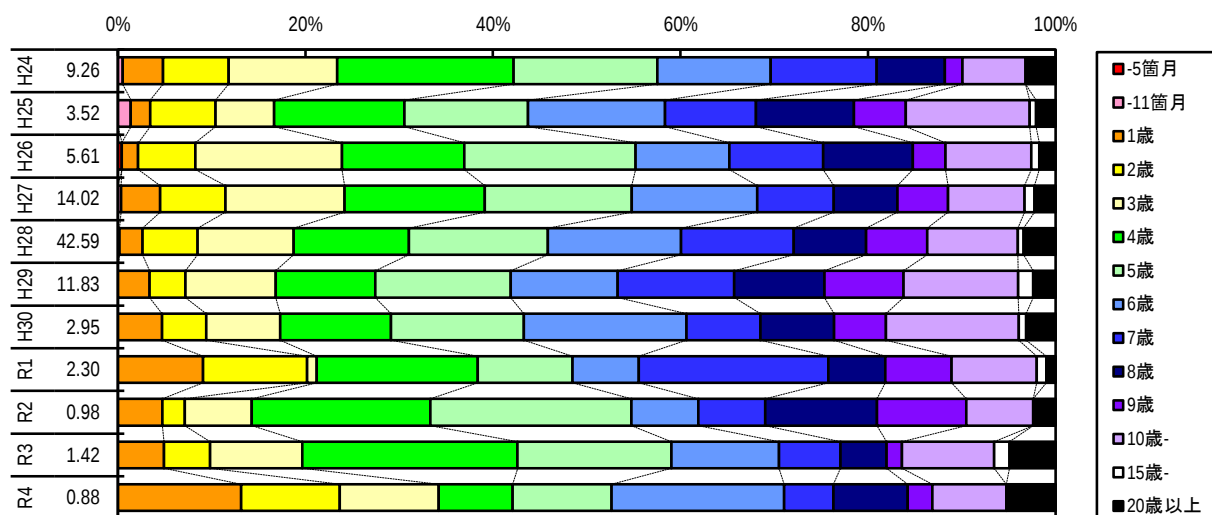
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



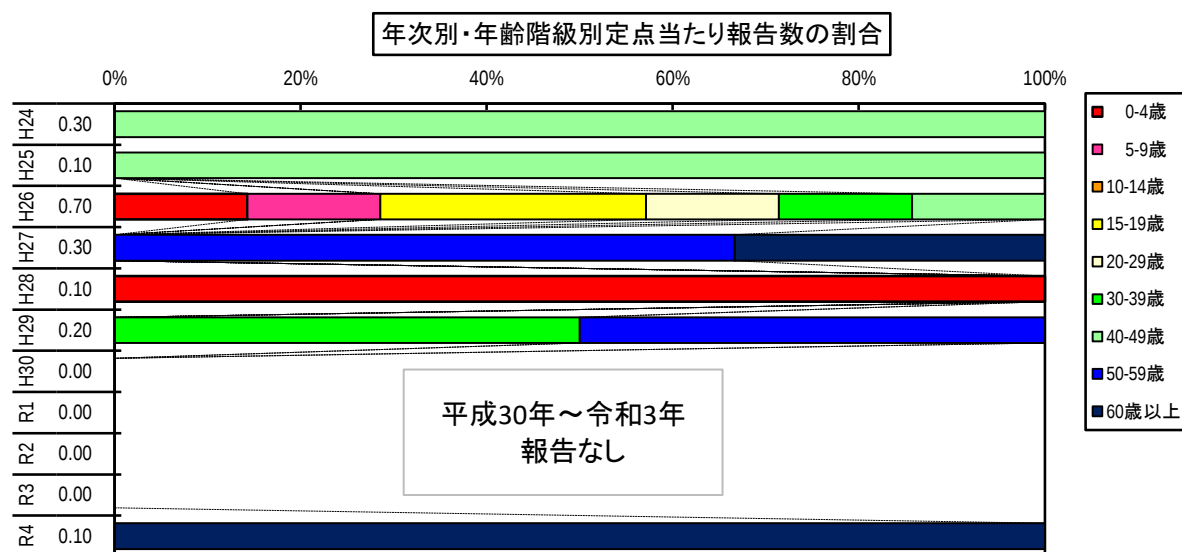
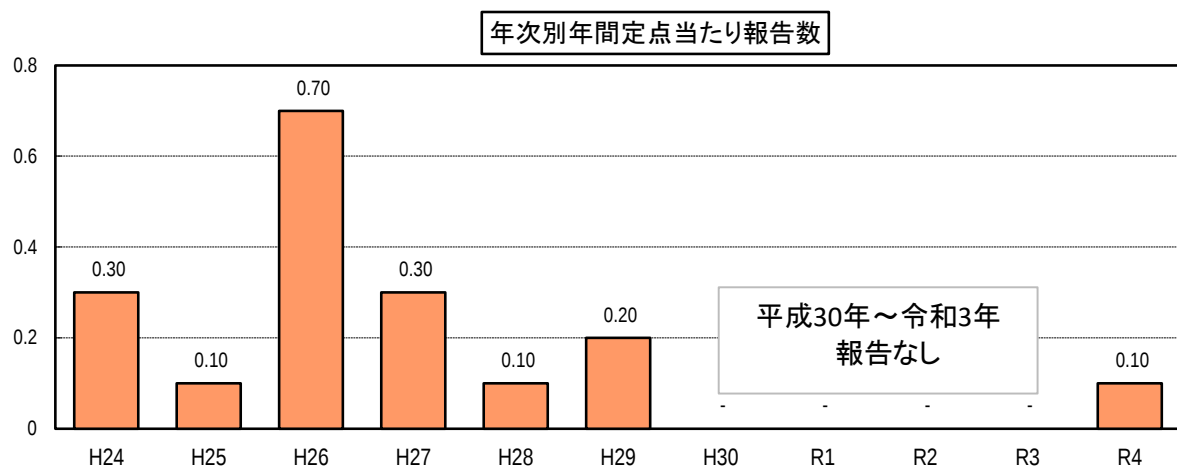
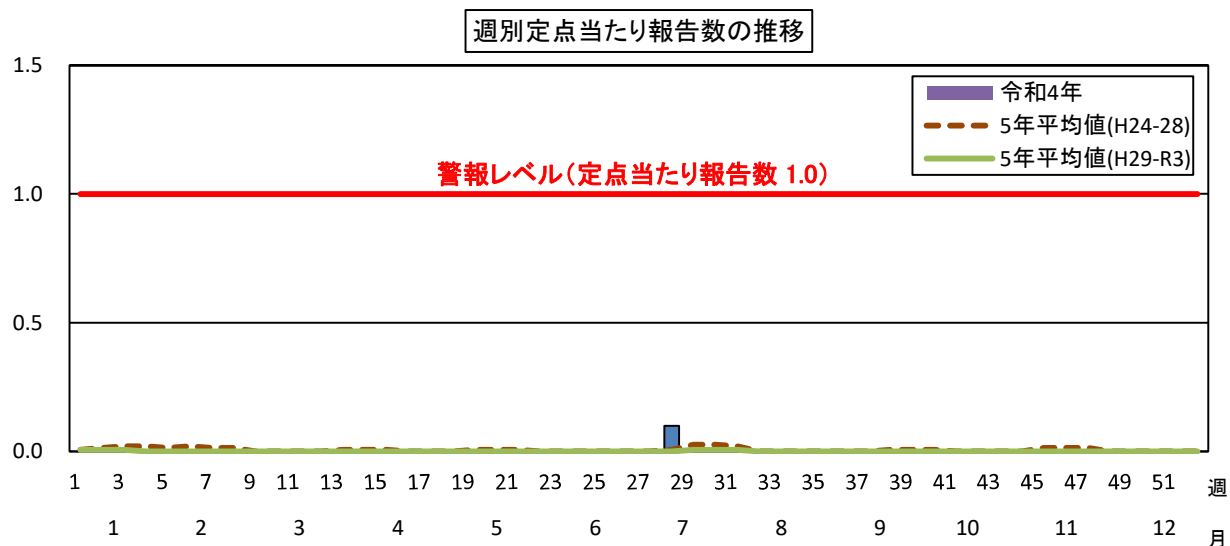
年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



ウ 眼科定点

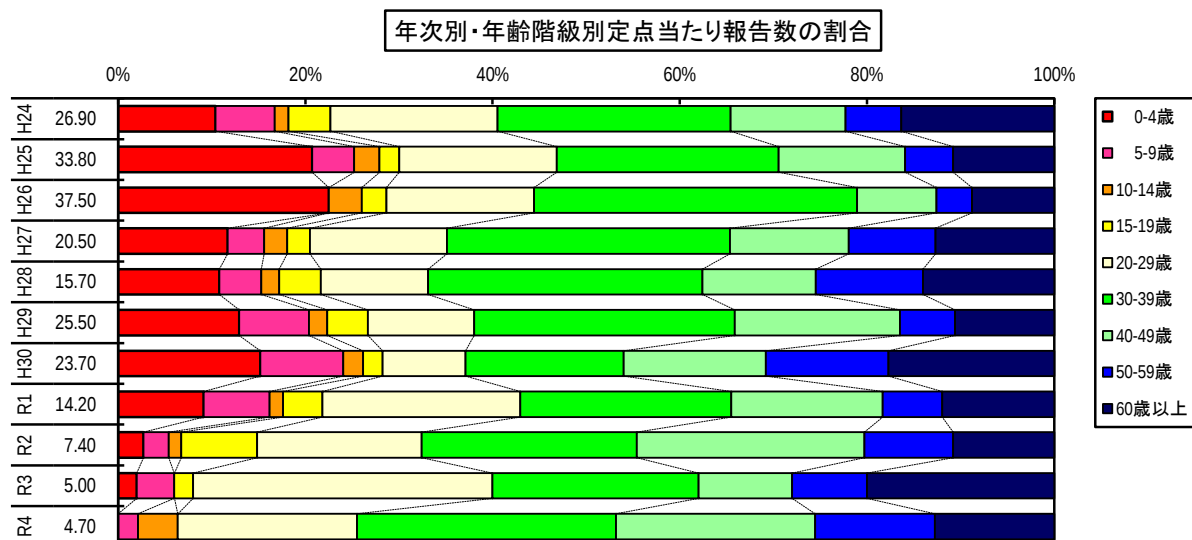
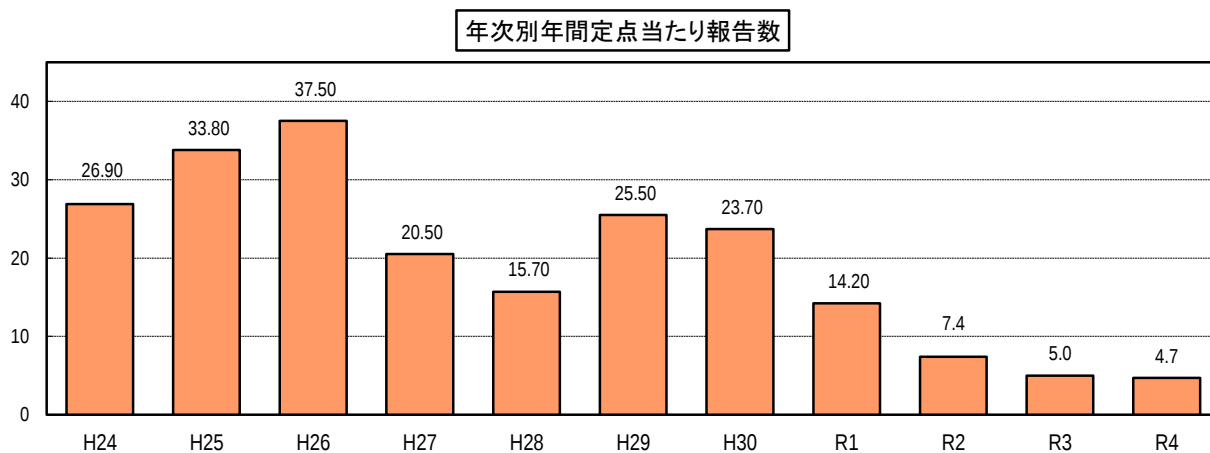
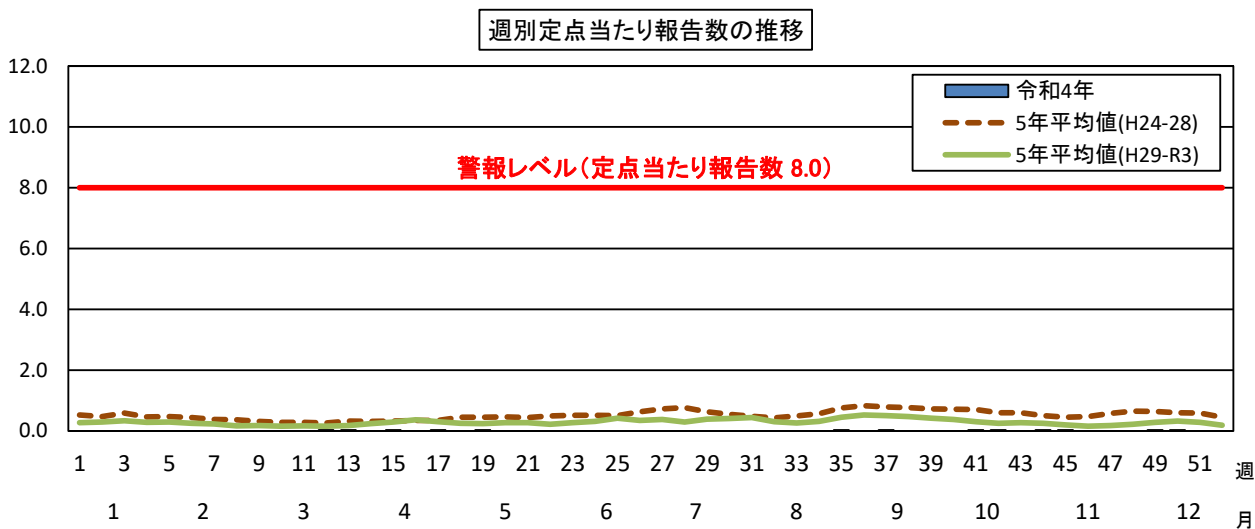
(ア) 急性出血性結膜炎

- ・年間報告数:1例(年間定点当たり報告数0.10)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:2.50 / 前年比:-



(イ) 流行性角結膜炎

- ・年間報告数:47例(年間定点当たり報告数:4.70)
- ・年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比:0.29 / 前年比0.94



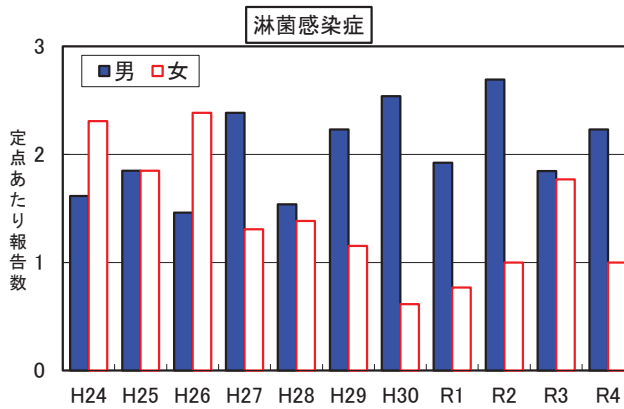
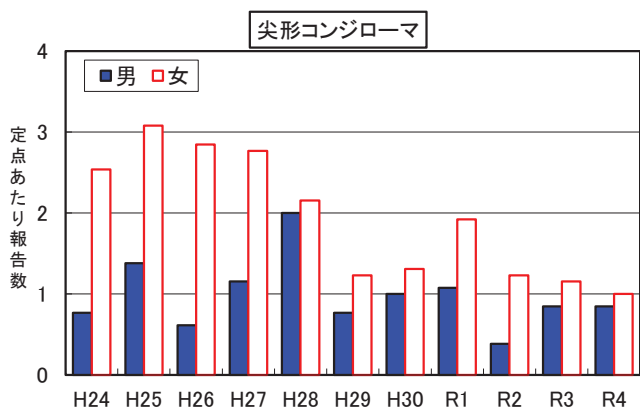
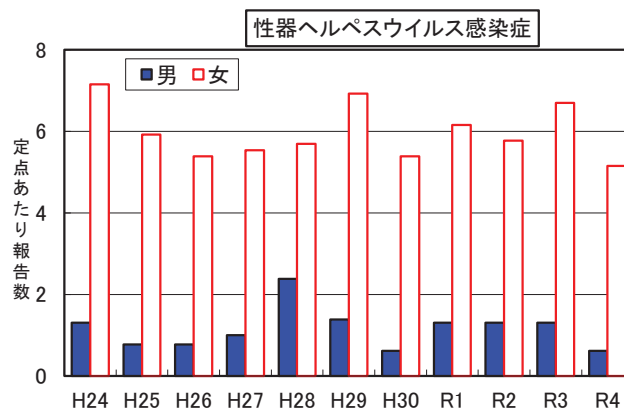
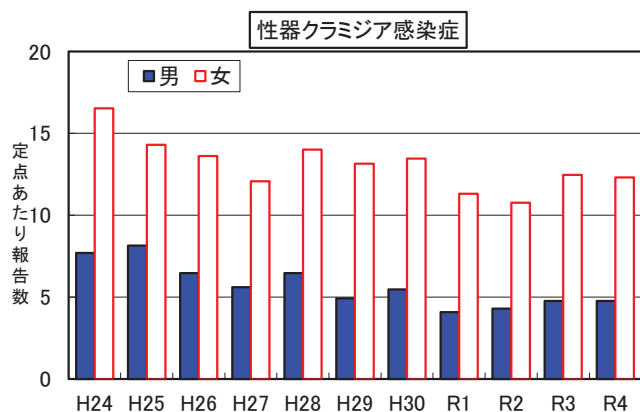
エ 性感染症定点

性感染症の報告数と定点当たり報告数

	性器クラミジア感染症			性器ヘルペスウイルス感染症			尖形コンジローマ			淋菌感染症		
年	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
H24年	100	215	315	17	93	110	10	33	43	21	30	51
	7.69	16.54	24.23	1.31	7.15	8.46	0.77	2.54	3.31	1.62	2.31	3.92
H25年	106	186	292	10	77	87	18	40	58	24	24	48
	8.15	14.31	22.46	0.77	5.92	6.69	1.38	3.08	4.46	1.85	1.85	3.69
H26年	84	177	261	10	70	80	8	37	45	19	31	50
	6.46	13.62	20.08	0.77	5.38	6.15	0.62	2.85	3.46	1.46	2.38	3.85
H27年	73	157	230	13	72	85	15	36	51	31	17	48
	5.62	12.08	17.69	1.00	5.54	6.54	1.15	2.77	3.92	2.38	1.31	3.69
H28年	84	182	266	31	74	105	26	28	54	20	18	38
	6.46	14.00	20.46	2.38	5.69	8.08	2.00	2.15	4.15	1.54	1.38	2.92
H29年	64	171	235	18	90	108	10	16	26	29	15	44
	4.92	13.15	18.08	1.38	6.92	8.31	0.77	1.23	2.00	2.23	1.15	3.38
H30年	71	175	246	8	70	78	13	17	30	33	8	41
	5.46	13.46	18.92	0.62	5.38	6.00	1.00	1.31	2.31	2.54	0.62	3.15
R1年	53	147	200	17	80	97	14	25	39	25	10	35
	4.08	11.31	15.38	1.31	6.15	7.46	1.08	1.92	3.00	1.92	0.77	2.69
R2年	56	140	196	17	75	92	5	16	21	35	13	48
	4.31	10.77	15.08	1.31	5.77	7.08	0.38	1.23	1.62	2.69	1.00	3.69
R3年	62	162	224	17	87	104	11	15	26	24	23	47
	4.77	12.46	17.23	1.31	6.69	8.00	0.85	1.15	2.00	1.85	1.77	3.62
R4年	62	160	222	8	67	75	11	13	24	29	13	42
	4.77	12.31	17.08	0.62	5.15	5.77	0.85	1.00	1.85	2.23	1.00	3.23

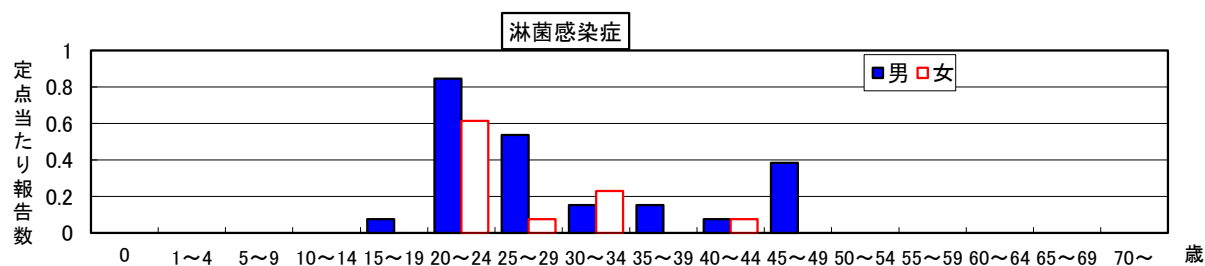
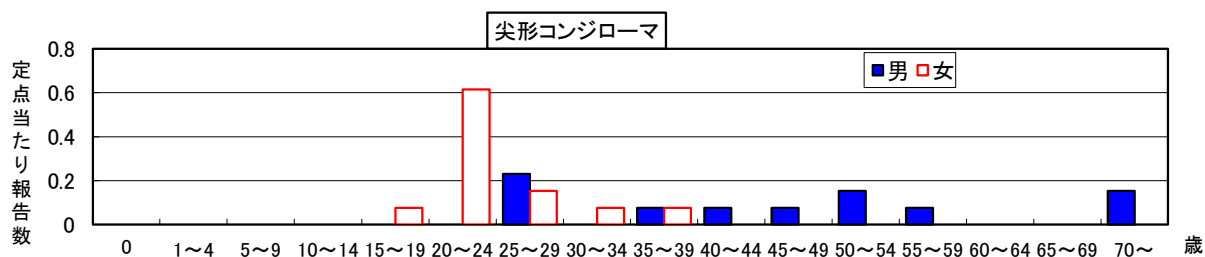
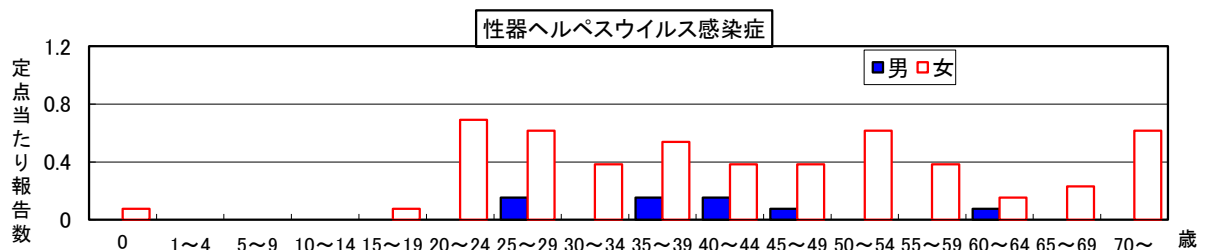
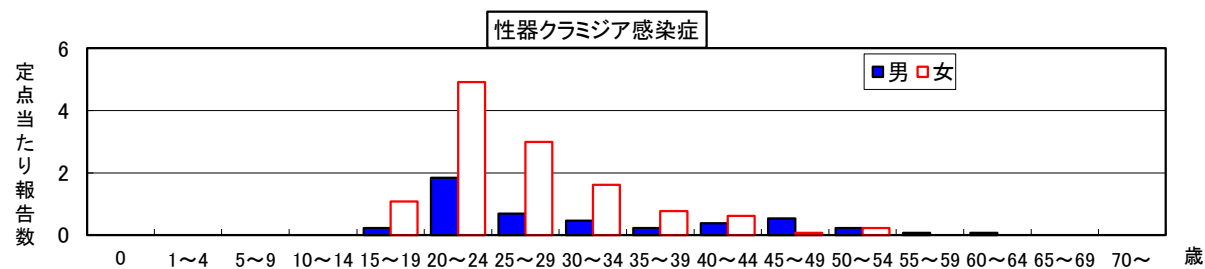
上段: 報告数

下段: 定点当たり報告数



性感染症の性別、年齢階級別報告数

疾病名 年齢(歳) \ 性別	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス 感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		総計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
1～4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19	3	14	-	1	-	1	1	-	4	16
20～24	24	64	-	9	-	8	11	8	35	89
25～29	9	39	2	8	3	2	7	1	21	50
30～34	6	21	-	5	-	1	2	3	8	30
35～39	3	10	2	7	1	1	2	-	8	18
40～44	5	8	2	5	1	-	1	1	9	14
45～49	7	1	1	5	1	-	5	-	14	6
50～54	3	3	-	8	2	-	-	-	5	11
55～59	1	-	-	5	1	-	-	-	2	5
60～64	1	-	1	2	-	-	-	-	2	2
65～69	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3
70～	-	-	-	8	2	-	-	-	2	8
合計	62	160	8	67	11	13	29	13	110	253



オ 基幹定点

基幹定点対象感染症は7感染症あり、いずれも報告はなかった。

(5) 感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省で定める疑似症の概況

疑似症の報告はなかった。

《表 - 1》 報告週対応表(令和4年)

月・週	期間
1月	第1週 1月 3日 ~ 1月 9日
	第2週 1月10日 ~ 1月16日
	第3週 1月17日 ~ 1月23日
	第4週 1月24日 ~ 1月30日
	第5週 1月31日 ~ 2月 6日
2月	第6週 2月 7日 ~ 2月13日
	第7週 2月14日 ~ 2月20日
	第8週 2月21日 ~ 2月27日
	第9週 2月28日 ~ 3月 6日
3月	第10週 3月 7日 ~ 3月13日
	第11週 3月14日 ~ 3月20日
	第12週 3月21日 ~ 3月27日
	第13週 3月28日 ~ 4月 3日
4月	第14週 4月 4日 ~ 4月10日
	第15週 4月11日 ~ 4月17日
	第16週 4月18日 ~ 4月24日
	第17週 4月25日 ~ 5月 1日
5月	第18週 5月 2日 ~ 5月 8日
	第19週 5月 9日 ~ 5月15日
	第20週 5月16日 ~ 5月22日
	第21週 5月23日 ~ 5月29日
	第22週 5月30日 ~ 6月 5日
6月	第23週 6月 6日 ~ 6月12日
	第24週 6月13日 ~ 6月19日
	第25週 6月20日 ~ 6月26日
	第26週 6月27日 ~ 7月 3日

月・週	期間
7月	第27週 7月 4日 ~ 7月10日
	第28週 7月11日 ~ 7月17日
	第29週 7月18日 ~ 7月24日
	第30週 7月25日 ~ 7月31日
8月	第31週 8月 1日 ~ 8月 7日
	第32週 8月 8日 ~ 8月14日
	第33週 8月15日 ~ 8月21日
	第34週 8月22日 ~ 8月28日
	第35週 8月29日 ~ 9月 4日
9月	第36週 9月 5日 ~ 9月11日
	第37週 9月12日 ~ 9月18日
	第38週 9月19日 ~ 9月25日
	第39週 9月26日 ~ 10月 2日
10月	第40週 10月 3日 ~ 10月 9日
	第41週 10月10日 ~ 10月16日
	第42週 10月17日 ~ 10月23日
	第43週 10月24日 ~ 10月30日
	第44週 10月31日 ~ 11月 6日
11月	第45週 11月 7日 ~ 11月13日
	第46週 11月14日 ~ 11月20日
	第47週 11月21日 ~ 11月27日
	第48週 11月28日 ~ 12月 4日
12月	第49週 12月 5日 ~ 12月11日
	第50週 12月12日 ~ 12月18日
	第51週 12月19日 ~ 12月25日
	第52週 12月26日 ~ 1月 1日

《表－２》 定点数の年次推移

報告期間		週単位	週単位	週単位	週単位 月単位	月単位	ただちに
	定点種	インフル エンザ	小児科	眼科定点	基幹定点 (1999年まで は病院定点)	性感染症 定点	疑似症
1982	昭和57年	-	48	3	1	-	-
1983	昭和58年	-	48	3	1	-	-
1984	昭和59年	-	48	3	1	-	-
1985	昭和60年	-	48	3	1	-	-
1986	昭和61年	-	48	3	1	-	-
1987	昭和62年	-	46	3	6	10	-
1988	昭和63年	-	46	3	6	10	-
1989	平成元年	-	46	3	6	10	-
1990	平成2年	-	46	3	6	9	-
1991	平成3年	-	46	3	6	9	-
1992	平成4年	-	46	3	6	9	-
1993	平成5年	-	43	3	6	9	-
1994	平成6年	-	42	3	6	9	-
1995	平成7年	-	49	3	6	12	-
1996	平成8年	-	49	3	6	12	-
1997	平成9年	-	49	3	6	12	-
1998	平成10年	-	49	3	6	12	-
1999	平成11年	1-3月	49	3	6	12	-
		4-12月	68	41	10	13 ^{*1*3}	-
2000	平成12年	68	41	10	1	13 ^{*1*3}	-
2001	平成13年	68	41	10	1	13 ^{*1*3}	-
2002	平成14年	68	41	10	1	13 ^{*1*3}	-
2003	平成15年	68	41	10	1	13 ^{*2}	-
2004	平成16年	68	41	10	1	13 ^{*2}	-
2005	平成17年	68	41	10	1	13	-
2006	平成18年	68	41	10	1	13	-
2007	平成19年	68	41	10	1	13	-
2008	平成20年	1-3月	68	41	10	13	-
		4-12月	68	41	10	13	90
2009	平成21年	68	41	10	1	13	89
2010	平成22年	68	41	10	1	13	89
2011	平成23年	67	40	10	1	13	88
2012	平成24年	1-6週	64	37	10	13	85
		7-10週	65	37	10	13	86
		11-最終週	68	41	10	13	90
2013	平成25年	1-13週	67	41	10	13	89
		14-26週	68	41	10	13	90
		27-31週	67	40	10	13	89
		32-最終週	68	41	10	13	90
2014	平成26年	68	41	10	1	13	90
2015	平成27年	68	41	10	1	13	90
2016	平成28年	1-13週	68	41	10	13	90
		14-最終週	69	42	10	13	91
2017	平成29年	1-24週	69	42	10	13	91
		25-最終週	69	42	10	13	90
2018	平成30年	69	43	10	1	13	90
2019	令和元年	1-20週	69	43	10	13	90
		21-最終週	69	43	10	13	13
2020	令和2年	69	43	10	1	13	13
2021	令和3年	69	43	10	1	13	13
2022	令和4年	69	43	10	1	13	13

*1: 性器クラミジアは定点数11(東山区, 下京区を除く)

*2: 性器クラミジアは定点数12(下京区を除く)

*3: 淋菌感染症は定点数12(下京区を除く)

《表 - 3》 感染症別報告数の年次推移（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
インフル	インフルエンザ	17,351	13,538	20,657	10,130	17,989	15,552	20,649	20,435	6,970	11	434
小児科	RSウイルス感染症	835	792	928	1,004	797	1,340	1,110	1,134	95	2,015	1,823
	咽頭結膜熱	253	570	934	609	817	746	493	802	300	305	437
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	2,422	2,014	2,191	2,567	2,495	2,802	2,577	2,780	1,987	1,346	1,546
	感染性胃腸炎	14,227	10,497	13,683	11,847	15,246	13,310	12,190	10,883	4,116	6,712	6,649
	水痘	1,916	1,862	1,310	722	651	528	522	744	341	186	144
	手足口病	433	2,747	641	5,526	1,178	3,861	1,364	4,039	145	1,217	1,555
	伝染性紅斑	161	48	141	766	383	57	195	1,877	141	11	20
	突発性発しん	768	784	796	792	775	822	787	655	682	566	389
	百日咳（注1）	16	5	7	13	10	8	...	...	...	...	...
	ヘルパンギーナ	780	1,140	1,345	635	1,081	1,002	947	809	152	655	215
	流行性耳下腺炎	372	144	230	575	1,782	499	127	99	42	61	38
	合計	22,183	20,603	22,206	25,056	25,215	24,975	20,312	23,822	8,001	13,074	12,816
眼科	急性出血性結膜炎	3	1	7	3	1	2	-	-	-	-	1
	流行性角結膜炎	269	338	375	205	157	255	237	142	74	50	47
	合計	272	339	382	208	158	257	237	142	74	50	48
性感染症	性器クラミジア 感染症	315	292	261	230	266	235	246	200	196	224	222
	性器ヘルペス ウイルス感染症	110	87	80	85	105	108	78	97	92	104	75
	尖圭コンジローマ	43	58	45	51	54	26	30	39	21	26	24
	淋菌感染症	51	48	50	48	38	44	41	35	48	47	42
	合計	519	485	436	414	463	413	395	371	357	401	363
基幹 （週ごと）	細菌性髄膜炎	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	12	16	1	2	1	-	1	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	12	3	1	5	7	3	-	2	2	-	-
	クラミジア肺炎 （オウム病除く）	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	12	19	17	6	9	5	0	3	2	0	0
基幹 （月ごと）	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

（注1）百日咳は平成30年1月1日（1週）から全数把握対象感染症に変更となった。

《表 - 4》 感染症別定点当たり報告数の年次推移（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	過去5年平均値との比	前年比
インフル	インフルエンザ	266.57	186.83	303.78	148.97	264.08	225.39	299.26	296.16	101.01	0.16	6.29	0.03	39.45
小児科	RSウイルス感染症	20.56	19.32	22.63	24.49	19.04	29.05	25.81	26.37	2.21	46.86	42.40	1.63	0.90
	咽頭結膜熱	6.23	13.93	22.78	14.85	19.55	17.68	11.47	18.65	6.98	7.09	10.16	0.82	1.43
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	60.02	49.23	53.44	62.61	59.89	66.26	59.93	64.65	46.21	31.30	35.95	0.67	1.15
	感染性胃腸炎	353.52	256.34	333.73	288.95	365.18	290.82	283.49	253.09	95.72	156.09	154.63	0.72	0.99
	水痘	47.67	45.48	31.95	17.61	15.61	12.45	12.14	17.30	7.93	4.33	3.35	0.31	0.77
	手足口病	10.87	67.45	15.63	134.78	28.05	91.53	31.72	93.93	3.37	28.30	36.16	0.73	1.28
	伝染性紅斑	4.01	1.17	3.44	18.68	9.23	1.35	4.53	43.65	3.28	0.26	0.47	0.04	1.82
	突発性発しん	18.99	19.17	19.41	19.32	18.54	19.43	18.30	15.23	15.86	13.16	9.05	0.55	0.69
	百日咳	0.39	0.12	0.17	0.32	0.24	0.19	...	...	...	...	...	...	...
	ヘルパンギーナ	19.03	28.18	32.80	15.49	25.75	23.58	22.02	18.81	3.53	15.23	5.00	0.30	0.33
	流行性耳下腺炎	9.26	3.52	5.61	14.02	42.59	11.83	2.95	2.30	0.98	1.42	0.88	0.23	0.62
	合計	550.55	503.91	541.61	611.12	603.67	564.17	472.37	554.00	186.07	-	298.05	-	-
眼科	急性出血性結膜炎	0.30	0.10	0.70	0.30	0.10	0.20	-	-	-	-	0.10	2.50	-
	流行性角結膜炎	26.90	33.80	37.50	20.50	15.70	25.50	23.70	14.20	7.40	5.00	4.70	0.29	0.94
	合計	27.20	33.90	38.20	20.80	15.80	25.70	23.70	14.20	7.40	-	4.80	-	-
性感染症	性器クラミジア感染症	24.23	22.46	20.08	17.69	20.46	18.08	18.92	15.38	15.08	17.23	17.08	1.01	0.99
	性器ヘルペスウイルス感染症	8.46	6.69	6.15	6.54	8.08	8.31	6.00	7.46	7.08	8.00	5.77	0.78	0.72
	尖圭コンジローマ	3.31	4.46	3.46	3.92	4.15	2.00	2.31	3.00	1.62	2.00	1.85	0.85	0.92
	淋菌感染症	3.92	3.69	3.85	3.69	2.92	3.38	3.15	2.69	3.69	3.62	3.23	0.98	0.89
	合計	39.92	37.31	33.54	31.85	35.62	31.77	30.38	28.54	27.46	-	27.92	1.18	-
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	-	1.00	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	12.00	16.00	1.00	2.00	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	12.00	3.00	1.00	5.00	7.00	3.00	-	2.00	2.00	-	-	-	-
	クラミジア肺炎 (オウム病除く)	-	3.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	12.00	19.00	17.00	6.00	9.00	5.00	-	3.00	2.00	-	-	-	-
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-

《表 - 5》 月別の報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフルエンザ		-	2	-	-	-	-	7	9	1	33	96	286	434
小児科	RSウイルス感染症	14	4	1	3	37	166	698	539	222	63	41	35	1,823
	咽頭結膜熱	32	8	5	7	70	128	72	27	15	17	34	22	437
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	49	42	75	60	70	142	129	140	365	293	129	1,546
	感染性胃腸炎	1,278	426	390	408	773	798	617	393	261	340	335	630	6,649
	水痘	10	3	6	16	17	18	10	7	7	11	14	25	144
	手足口病	40	6	10	2	16	38	93	237	319	457	229	108	1,555
	伝染性紅斑	1	3	3	2	5	1	-	2	1	-	1	1	20
	突発性発しん	29	21	29	26	51	47	38	32	35	30	27	24	389
	ヘルパンギーナ	3	-	5	10	3	2	17	39	38	57	21	20	215
	流行性耳下腺炎	2	3	1	2	4	7	5	5	1	3	2	3	38
	合計	1,461	523	492	551	1,036	1,275	1,692	1,410	1,039	1,343	997	997	12,816
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
	流行性角結膜炎	3	3	6	4	7	2	1	3	4	5	3	6	47
	合計	3	3	6	4	7	2	2	3	4	5	3	6	48
性感染症	性器クラミジア感染症	14	15	18	16	22	19	15	20	22	22	19	20	222
	性器ヘルペスウイルス感染症	7	5	5	4	8	10	3	11	6	5	6	5	75
	尖圭コンジローマ	3	-	2	-	4	-	4	5	4	-	-	2	24
	淋菌感染症	3	1	1	3	6	6	4	2	4	3	5	4	42
	合計	27	21	26	23	40	35	26	38	36	30	30	31	363
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《表 - 6》 月別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフルエンザ		-	0.03	-	-	-	-	0.10	0.13	0.01	0.48	1.39	4.14	6.29
小児科	RSウイルス感染症	0.33	0.09	0.02	0.07	0.86	3.86	16.23	12.53	5.16	1.47	0.95	0.81	42.40
	咽頭結膜熱	0.74	0.19	0.12	0.16	1.63	2.98	1.67	0.63	0.35	0.40	0.79	0.51	10.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.21	1.14	0.98	1.74	1.40	1.63	3.30	3.00	3.26	8.49	6.81	3.00	35.95
	感染性胃腸炎	29.72	9.91	9.07	9.49	17.98	18.56	14.35	9.14	6.07	7.91	7.79	14.65	154.63
	水痘	0.23	0.07	0.14	0.37	0.40	0.42	0.23	0.16	0.16	0.26	0.33	0.58	3.35
	手足口病	0.93	0.14	0.23	0.05	0.37	0.88	2.16	5.51	7.42	10.63	5.33	2.51	36.16
	伝染性紅斑	0.02	0.07	0.07	0.05	0.12	0.02	-	0.05	0.02	-	0.02	0.02	0.47
	突発性発しん	0.67	0.49	0.67	0.60	1.19	1.09	0.88	0.74	0.81	0.70	0.63	0.56	9.05
	ヘルパンギーナ	0.07	-	0.12	0.23	0.07	0.05	0.40	0.91	0.88	1.33	0.49	0.47	5.00
	流行性耳下腺炎	0.05	0.07	0.02	0.05	0.09	0.16	0.12	0.12	0.02	0.07	0.05	0.07	0.88
合計		33.98	12.16	11.44	12.81	24.09	29.65	39.35	32.79	24.16	31.23	23.19	23.19	298.05
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	0.01
	流行性角結膜炎	0.30	0.30	0.60	0.40	0.70	0.20	0.10	0.30	0.40	0.50	0.30	0.60	4.70
	合計	0.30	0.30	0.60	0.40	0.70	0.20	0.20	0.30	0.40	0.50	0.30	0.60	4.80
性感染症	性器クラミジア感染症	1.08	1.15	1.38	1.23	1.69	1.46	1.15	1.54	1.69	1.69	1.46	1.54	17.08
	性器ヘルペスウイルス感染症	0.54	0.38	0.38	0.31	0.62	0.77	0.23	0.85	0.46	0.38	0.46	0.38	5.77
	尖圭コンジローマ	0.23	-	0.15	-	0.31	-	0.31	0.38	0.31	-	-	0.15	1.85
	淋菌感染症	0.23	0.08	0.08	0.23	0.46	0.46	0.31	0.15	0.31	0.23	0.38	0.31	3.23
	合計	2.08	1.62	2.00	1.77	3.08	2.69	2.00	2.92	2.77	2.31	2.31	2.38	27.92
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《表 - 7》 年齢階級別の報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症																					
	-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	合計	
インフルエンザ	1	6	11	9	20	19	21	35	30	26	21	77	52	53	22	11	7	9	1	3	434	
	-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上	合計							
RSウイルス感染症	146	227	598	455	246	92	35	12	4	1	1	-	-	6	1,823							
咽頭結膜熱	2	59	184	89	49	25	10	6	2	1	-	1	2	7	437							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	43	167	185	159	145	127	126	73	71	45	124	19	238	1,546							
感染性胃腸炎	60	440	1,089	836	706	590	456	378	272	260	226	588	161	587	6,649							
水痘	-	2	14	7	12	16	18	12	10	16	14	19	2	2	144							
小児科	7	120	599	380	250	90	43	23	11	8	2	10	1	11	1,555							
手足口病	-	1	-	3	4	4	3	3	-	-	-	1	-	1	20							
伝染性紅斑	4	108	219	37	13	8	-	-	-	-	-	-	-	-	389							
突発性発しん	1	27	60	42	36	14	10	6	4	2	2	6	1	4	215							
ヘルパンギーナ	-	-	5	4	4	3	4	7	2	3	1	3	-	2	38							
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
合計	244	1,027	2,935	2,038	1,479	987	706	573	378	362	291	752	186	858	12,816							
	-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計		
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
眼科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	9	13	10	6	1	5	47	
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	9	13	10	6	2	5	48	
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	9	13	10	6	2	5	48	
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計					
性器クラミジア感染症	-	-	-	-	17	88	48	27	13	13	8	6	1	1	-	222						
性器ヘルpesウイルス感染症	1	-	-	-	1	9	10	5	9	7	6	8	5	3	3	8	75					
性感染症 尖圭コンジローマ	-	-	-	-	1	8	5	1	2	1	1	2	1	-	-	2	24					
淋菌感染症	-	-	-	-	1	19	8	5	2	2	5	-	-	-	-	42						
合計	1	-	-	-	20	124	71	38	26	23	20	16	7	4	3	10	363					
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計					
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
基幹 (週ごと)	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計					
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
基幹 (月ごと)	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						

《表 - 8》 年齢階級別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症																				
	-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	合計
インフルエンザ	0.01	0.09	0.16	0.13	0.29	0.28	0.30	0.51	0.43	0.38	0.30	1.12	0.75	0.77	0.32	0.16	0.10	0.13	0.01	0.04	6.29
	-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上	合計						
RSウイルス感染症	3.40	5.28	13.91	10.58	5.72	2.14	0.81	0.28	0.09	0.02	0.02	-	-	0.14	42.40						
咽頭結膜熱	0.05	1.37	4.28	2.07	1.14	0.58	0.23	0.14	0.05	0.02	-	0.02	0.05	0.16	10.16						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	1.00	3.88	4.30	3.70	3.37	2.95	2.93	1.70	1.65	1.05	2.88	0.44	5.53	35.95						
感染性胃腸炎	1.40	10.23	25.33	19.44	16.42	13.72	10.60	8.79	6.33	6.05	5.26	13.67	3.74	13.65	154.63						
水痘	-	0.05	0.33	0.16	0.28	0.37	0.42	0.28	0.23	0.37	0.33	0.44	0.05	0.05	3.35						
小児科	0.16	2.79	13.93	8.84	5.81	2.09	1.00	0.53	0.26	0.19	0.05	0.23	0.02	0.26	36.16						
伝染性紅斑	-	0.02	-	0.07	0.09	0.09	0.07	0.07	-	-	-	0.02	-	0.02	0.47						
突発性発しん	0.09	2.51	5.09	0.86	0.30	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	9.05						
ヘルパンギーナ	0.02	0.63	1.40	0.98	0.84	0.33	0.23	0.14	0.09	0.05	0.05	0.14	0.02	0.09	5.00						
流行性耳下腺炎	-	-	0.12	0.09	0.09	0.07	0.09	0.16	0.05	0.07	0.02	0.07	-	0.05	0.88						
合計	5.67	23.88	68.26	47.40	34.40	22.95	16.42	13.33	8.79	8.42	6.77	17.49	4.33	19.95	298.05						
	-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10
眼科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	0.90	1.30	1.00	0.60	0.10	0.50	4.70
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	0.90	1.30	1.00	0.60	0.20	0.50	4.80
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.20	-	0.90	1.30	1.00	0.60	0.20	0.50	4.80
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計				
性器クラミジア感染症	-	-	-	-	1.31	6.77	3.69	2.08	1.00	1.00	0.62	0.46	0.08	-	-	17.08					
性器ヘルペスウイルス感染症	0.08	-	-	-	0.08	0.69	0.77	0.38	0.69	0.54	0.46	0.62	0.38	0.23	0.62	5.77					
性感染症	-	-	-	-	0.08	0.62	0.38	0.08	0.15	0.08	0.08	0.15	0.08	-	-	0.15	1.85				
尖圭コンジローマ	-	-	-	-	0.08	1.46	0.62	0.38	0.15	0.15	0.38	-	-	-	-	3.23					
淋菌感染症	-	-	-	-	0.08	1.46	0.62	0.38	0.15	0.15	0.38	-	-	-	-	3.23					
合計	0.08	-	-	-	1.54	9.54	5.46	2.92	2.00	1.77	1.54	1.23	0.54	0.31	0.23	0.77	27.92				
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計				
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
基幹 (週ごと)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計				
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
基幹 (月ごと)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

《表 - 9》 感染症別の年齢階級別割合 (%) (定点把握対象五類感染症)

定点種	感染症																		
	-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
インフル インフルエンザ	0.2	1.4	2.5	2.1	4.6	4.4	4.8	8.1	6.9	6.0	4.8	17.7	12.0	12.2	5.1	2.5	1.6	2.1	0.7
	-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上	合計	0.2	0.2	2.1	0.7
RSウイルス感染症	8.0	12.5	32.8	25.0	13.5	5.0	1.9	0.7	0.2	0.1	0.1	-	-	-	0.3	100			
咽頭結膜熱	0.5	13.5	42.1	20.4	11.2	5.7	2.3	1.4	0.5	0.2	-	0.2	0.5	1.6	100				
A群溶血性レン球菌咽頭炎	1.6	2.8	10.8	12.0	10.3	9.4	8.2	8.2	4.7	4.6	2.9	8.0	1.2	15.4	100				
感染性胃腸炎	0.9	6.6	16.4	12.6	10.6	8.9	6.9	5.7	4.1	3.9	3.4	8.8	2.4	8.8	100				
水痘	-	1.4	9.7	4.9	8.3	11.1	12.5	8.3	6.9	11.1	9.7	13.2	1.4	1.4	100				
小児科 手足口病	0.5	7.7	38.5	24.4	16.1	5.8	2.8	1.5	0.7	0.5	0.1	0.6	0.1	0.7	100				
伝染性紅斑	-	5.0	-	15.0	20.0	20.0	15.0	15.0	-	-	-	5.0	-	5.0	100				
突発性発しん	1.0	27.8	56.3	9.5	3.3	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	100				
ヘルパンギーナ	0.5	12.6	27.9	19.5	16.7	6.5	4.7	2.8	1.9	0.9	0.9	2.8	0.5	1.9	100				
流行性耳下腺炎	-	-	13.2	10.5	10.5	7.9	10.5	18.4	5.3	7.9	2.6	7.9	-	5.3	100				
合計	1.9	8.0	22.9	15.9	11.5	7.7	5.5	4.5	2.9	2.8	2.3	5.9	1.5	6.7	100				
-5歳月	-11箇月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合計
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
眼科 流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	4.3	-	19.1	27.7	21.3	12.8	2.1	10.6
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	4.3	-	19.1	27.7	21.3	12.8	102.1	10.6
0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計			
性器クラミジア感染症	-	-	-	-	7.7	39.6	21.6	12.2	5.9	5.9	3.6	2.7	0.5	-	-	100			
性器ヘルペスウイルス感染症	1.3	-	-	-	1.3	12.0	13.3	6.7	12.0	9.3	8.0	10.7	6.7	4.0	4.0	10.7	100		
性感染症 尖圭コンジローマ	-	-	-	-	4.2	33.3	20.8	4.2	8.3	4.2	4.2	8.3	4.2	-	-	8.3	100		
淋菌感染症	-	-	-	-	2.4	45.2	19.0	11.9	4.8	4.8	11.9	-	-	-	-	-	100		
合計	0.3	-	-	-	5.5	34.2	19.6	10.5	7.2	6.3	5.5	4.4	1.9	1.1	0.8	2.8	100		
0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計			
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基幹 (週ごと)	クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	合計			
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘニシリン耐性 肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基幹 (月ごと)	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

《表 - 10》 行政区別の報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	合計
インフルインフルエンザ		24	27	62	6	10	154	16	23	60	39	13	434
小児科	RSウイルス感染症	74	39	248	43	71	200	-	41	377	579	151	1,823
	咽頭結膜熱	7	1	10	6	2	25	-	13	175	124	74	437
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	28	17	7	7	162	-	49	1,042	142	49	1,546
	感染性胃腸炎	89	100	585	198	271	280	8	274	1,017	2,385	1,442	6,649
	水痘	7	6	15	2	4	11	-	14	17	50	18	144
	手足口病	49	44	207	53	8	80	2	102	212	550	248	1,555
	伝染性紅斑	1	-	1	2	1	-	-	9	3	3	-	20
	突発性発しん	8	14	53	10	2	56	1	13	28	151	53	389
	ヘルパンギーナ	5	5	11	38	-	19	-	21	31	59	26	215
	流行性耳下腺炎	-	1	2	2	-	13	-	-	4	9	7	38
合計		283	238	1,149	361	366	846	11	536	2,906	4,052	2,068	12,816
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	流行性角結膜炎	1	1	1	5	-	6	-	-	26	5	2	47
	合計	1	1	1	5	-	6	-	-	27	5	2	48
性感染症	性器クラミジア感染症	3	-	19	67	19	22	15	23	-	51	3	222
	性器ヘルペスウイルス感染症	2	1	-	1	6	7	12	34	-	12	-	75
	尖圭コンジローマ	-	-	-	-	9	-	3	3	-	8	1	24
	淋菌感染症	-	-	8	8	2	1	-	3	-	20	-	42
	合計	5	1	27	76	36	30	30	63	-	91	4	363
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	無菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	マイコプラズマ肺炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	合計	...	...	...	0	...	...	...	...	...	...	...	0
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	合計	...	...	...	0	...	...	...	...	...	...	...	0

《表 - 11》 行政区別の定点当たり報告数（定点把握対象五類感染症）

定点種	感染症	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	全区
インフル インフルエンザ		3.43	5.40	8.86	1.20	3.33	22.00	5.33	4.60	7.50	3.55	1.63	6.29
小児科	RSウイルス感染症	18.50	13.00	62.00	14.33	35.50	40.00	-	13.67	75.40	82.71	30.20	42.40
	咽頭結膜熱	1.75	0.33	2.50	2.00	1.00	5.00	-	4.33	35.00	17.71	14.80	10.16
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10.75	9.33	4.25	2.33	3.50	32.40	-	16.33	208.40	20.29	9.80	35.95
	感染性胃腸炎	22.25	33.33	146.25	66.00	135.50	56.00	4.00	91.33	203.40	340.71	288.40	154.63
	水痘	1.75	2.00	3.75	0.67	2.00	2.20	-	4.67	3.40	7.14	3.60	3.35
	手足口病	12.25	14.67	51.75	17.67	4.00	16.00	1.00	34.00	42.40	78.57	49.60	36.16
	伝染性紅斑	0.25	-	0.25	0.67	0.50	-	-	3.00	0.60	0.43	-	0.47
	突発性発しん	2.00	4.67	13.25	3.33	1.00	11.20	0.50	4.33	5.60	21.57	10.60	9.05
	ヘルパンギーナ	1.25	1.67	2.75	12.67	-	3.80	-	7.00	6.20	8.43	5.20	5.00
	流行性耳下腺炎	-	0.33	0.50	0.67	-	2.60	-	-	0.80	1.29	1.40	0.88
合計		70.75	79.33	287.25	120.33	183.00	169.20	5.50	178.67	581.20	578.86	413.60	298.05
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	...	-	...	...	1.00	-	-	0.10
	流行性角結膜炎	1.00	1.00	1.00	2.50	...	6.00	...	...	26.00	2.50	2.00	4.70
	合計	1.00	1.00	1.00	2.50	...	6.00	...	...	27.00	2.50	2.00	4.80
性感染症	性器クラミジア感染症	3.00	-	19.00	33.50	19.00	22.00	15.00	23.00	-	25.50	3.00	17.08
	性器ヘルペスウイルス感染症	2.00	1.00	-	0.50	6.00	7.00	12.00	34.00	-	6.00	-	5.77
	尖圭コンジローマ	-	-	-	-	9.00	-	3.00	3.00	-	4.00	1.00	1.85
	淋菌感染症	-	-	8.00	4.00	2.00	1.00	-	3.00	-	10.00	-	3.23
	合計	5.00	1.00	27.00	38.00	36.00	30.00	30.00	63.00	-	45.50	4.00	27.92
基幹 (週ごと)	細菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	無菌性髄膜炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	マイコプラズマ肺炎	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	合計	...	...	...	0	...	...	...	...	...	...	...	0
基幹 (月ごと)	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	薬剤耐性緑膿菌感染症	...	...	...	-	...	...	...	...	...	...	...	-
	合計	...	...	...	0	...	...	...	...	...	...	...	0

2 検 査 情 報

(1) 三類感染症

ア 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付された表 1 に示す 100 検体について検査を実施した。なお、コレラ菌、赤痢菌、パラチフス A 菌及びチフス菌については、コレラ汚染地域への渡航者が消化器系感染症を発症した場合などに、患者、患者との接触者、旅行の同行者について検査を実施する。

表 1 三類感染症病原体検査 取扱件数及び項目数

検体数		100 (ふん便	78 , 菌株	22)	陽性数
検査項目	コレラ菌	1 (ふん便	1 , 菌株	0)	0
	赤痢菌	4 (ふん便	3 , 菌株	1)	1
	パラチフスA菌	1 (ふん便	1 , 菌株	0)	0
	チフス菌	1 (ふん便	1 , 菌株	0)	0
	EHEC	93 (ふん便	72 , 菌株	21)	25
合計		100 (ふん便	78 , 菌株	22)	26

イ 検査方法

常法により直接又は増菌培養した後に寒天培地に接種し、分離菌について生化学的性状と血清反応等による同定を行った。腸管出血性大腸菌については、免疫クロマト法（以下「IC 法」という。）及び逆受身ラテックス凝集反応法による毒素検出と PCR 法による毒素遺伝子の確認を行った。また、医療機関などで検出された菌株についても、同様に同定を行った。

ウ 結果

腸管出血性大腸菌は、患者及び接触者等のふん便 72 検体から 4 株を分離した。また、医療機関で分離された菌株 21 株（疑い事例を含む）が当所に搬入され、21 株を分離した。検査を行った計 25 株の血清型及び毒素型は表 2 のとおりであった。

表 2 腸管出血性大腸菌の血清型別の検出状況

血清型（毒素型）	株数	血清型（毒素型）	株数
O8 : H7(VT2)	1株	O157 : H7 (VT2)	11株
O8 : HNM (VT2)	1株	O157 : H7 (VT1+2)	6株
O26 : HNM (VT1)	2株	O157 : HNM (VT1+2)	2株
O112ac : H19 (VT1)	1株	合計	25株
O128 : H2 (VT1+2)	1株		

(2) 四類感染症

ア デングウイルス

(ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（血液）を検査対象とする。

(イ) 検査方法

デングウイルスの非構造タンパク抗原検査（以下「NS1」という。）については、医療機関での検査が未実施の血液検体を対象に、検査キットに添付のマニュアルに従い行う。遺伝子検査は、国立感染症研究所のデングウイルス感染症診断マニュアルに準じ、検体から RNA を抽出し、リアルタイム RT-PCR 法により行う。

（ウ）結果

7 月に 2 事例（2 名 4 検体）の検査を実施し、ともに NS1 陽性（医療機関での検査実施分を含む）であった。遺伝子検査ではデングウイルス 2 型を 2 名 4 検体全てから検出した。2 事例とも海外渡航者等、海外における感染であった。

イ 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）ウイルス

（ア）検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（血液、鼻咽頭ぬぐい液、尿）を検査対象とした。

（イ）検査方法

検査は、国立感染症研究所の SFTS ウイルス検査マニュアルに準じ、検体から RNA を抽出し、RT-PCR 法により行った。

（ウ）結果

5 月に 1 事例（1 名 3 検体）、10 月に 1 事例（1 名 4 検体）、12 月に 1 事例（1 名 3 検体）の検査を実施したが、SFTS ウイルスは検出されなかった。

ウ A 型肝炎ウイルス

（ア）検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（ふん便）を検査対象とする。

（イ）検査方法

検体を常法により前処理した後、RNA を抽出し、RT-PCR 法により遺伝子検出を行う。

（ウ）結果

1 月に 1 事例（1 名 1 検体）から A 型肝炎ウイルスを検出した。

（3）五類感染症

ア 感染性胃腸炎患者集団発生事例（図 1/p.41、表 3/p.40）

（ア）検査対象

高齢者福祉施設等からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（ふん便）を検査対象とした。

（イ）検査方法

検体を常法により前処理した後、RNA を抽出し、リアルタイム RT-PCR 法によりノロウイルスの遺伝子検出を行った。また、必要に応じて、リアルタイム RT-PCR 法でサポウイルスの遺伝子検出を、IC 法でロタウ

イルス、アデノウイルスの抗原検出を行った。

(ウ) 結果と考察

図1及び表3に示すとおり、令和4年は、1月に4施設、3月に2施設、5月に1施設、6月に2施設、7月に2施設、11月に4施設、12月に5施設、の計20施設の集団感染事例が発生し、患者便・吐物85検体を採取し検査を行った。そのうち、17施設59検体からノロウイルスGII、1施設10検体からノロウイルスGI、2施設5検体からサポウイルスを検出した。

表3 感染性胃腸炎患者集団発生事例における病原体検出状況

月	週	行政区	施設	検体数		陽性数	検出検体
1	3	上京区	保育園	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	3	西京区	保育園	患者便	3	3	ノロウイルスGII
	3	北区	高齢者福祉施設	患者便	5	4	ノロウイルスGII
	3	左京区	保育園	患者便	5	5	ノロウイルスGII
3	12	西京区	高齢者福祉施設	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	12	西京区	高齢者福祉施設	患者便	3	3	ノロウイルスGII
5	21	西京区	小学校	患者便	11	10	ノロウイルスGI
6	23	西京区	高齢者福祉施設	患者便	3	2	ノロウイルスGII
	23	左京区	保育園	患者便	4	4	サポウイルス
7	27	伏見区	保育園	患者便	3	3	ノロウイルスGII
	29	中京区	保育園	患者便	3	1	サポウイルス
11	46	上京区	保育園	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	46	左京区	保育園	患者便	5	4	ノロウイルスGII
	47	左京区	保育園	患者便	4	4	ノロウイルスGII
	48	北区	保育園	患者便	5	4	ノロウイルスGII
12	50	右京区	保育園	患者便	5	3	ノロウイルスGII
	51	洛西	保育園	患者便	5	5	ノロウイルスGII
	51	上京区	保育園	患者便	4	3	ノロウイルスGII
	51	中京区	保育園	患者便	3	3	ノロウイルスGII
	52	中京区	保育園	患者便	2	1	ノロウイルスGII
合計					85	74	

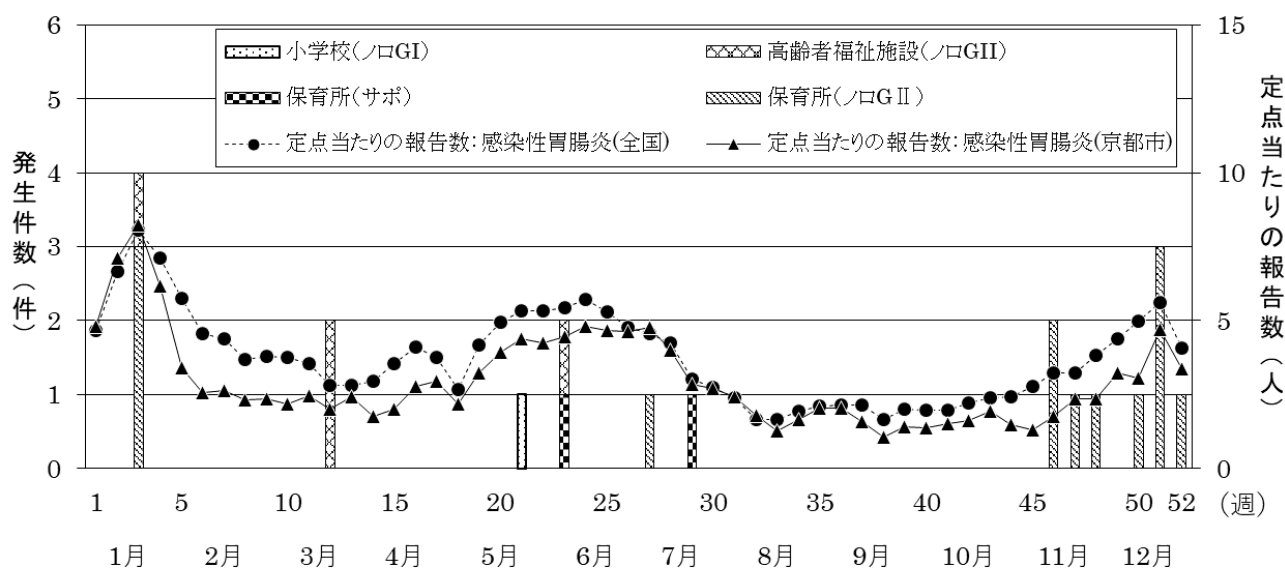


図1 感染性胃腸炎の集団発生事例における発生施設及び病因物質別の発生状況(令和4年)

イ 麻しんウイルス

(ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、病原体検査のために採取した検体で、衛生環境研究所に送付されたもの（鼻咽頭ぬぐい液、尿、血液）を検査対象とした。

なお、風しんとして届出のあった検体についても、検査対象とした。

(イ) 検査方法

検査は、国立感染症研究所の病原体検出マニュアル麻しんに準じ、検体から RNA を抽出し、RT-PCR 法又はリアルタイム RT-PCR 法による遺伝子検出を行った。また、培養細胞 B95a 細胞によるウイルス分離を行った。

(ウ) 結果

5 月に 1 事例（1 名 3 検体）の検査を行ったが、麻しんウイルス及び風しんウイルスは検出しなかった。

ウ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

(ア) 検査対象

医師からの届出により医療衛生企画課が調査し、衛生環境研究所に送付された検体（医療機関等で検出された菌株）について検査を実施した。

(イ) 検査方法

検査は、溶血性レンサ球菌の分離培養及び生化学的性状等検査、Lancefield 群別及び T 型別（A 群のみ）の血清学的検査を行った。検査終了後は、詳細な解析を行うため、当所で分離した菌株を溶血性レンサ球菌レファレンスセンターの地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に送付した。

(ウ) 結果

3月に1事例（1名1検体）、4月に1事例（1名1検体）、5月に1事例（1名1検体）、6月に1事例（1名1検体）、7月に3事例（1名1検体）、8月に2事例（2名2検体）、9月に1事例（1名1検体）、11月に1事例（1名1検体）の計9検体について検査を行い、4月の1事例（1名1検体）からA群溶血性レンサ球菌TB3264型を1株、8月の1事例（1名1検体）からT13型を1株、9月の1事例（1名1検体）からT9型を1株、6月の1事例（1名1検体）からB群溶血性レンサ球菌を1株、3月の1事例（1名1検体）、5月の1事例（1名1検体）、7月の1事例（1名1検体）、8月の1事例（1名1検体）及び11月の1事例（1名1検体）からG群溶血性レンサ球菌5株をそれぞれ検出した。

（４）京都市感染症発生動向調査事業における病原体検査（定点医療機関分）

ア 検査対象感染症

令和4年1月から12月までに病原体検査を行った疾病は、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、感染性髄膜炎、咽頭結膜熱、手足口病、RSウイルス感染症、その他（上気道炎）の計7疾病であった。

イ 検査材料

検査材料は、市内4箇所の病原体定点（小児科定点4箇所、インフルエンザ定点4箇所、眼科定点1箇所、基幹定点1箇所）の医療機関の協力により採取されたもので、患者49名から表4に示す検査材料について検査を行った。なお、令和4年は令和2年及び3年に続き、新型コロナウイルス感染症の流行下で、全国的に感染症対策がなされた影響等により、例年に比べ検査材料が非常に少ない状況となった。

ウ 検査方法

（ア）ウイルス検査

検体を常法により前処理した後、培養細胞（FL「ヒト羊膜由来細胞」、RD-18S「ヒト胎児横紋筋腫由来細胞」、Vero「アフリカミドリザル腎由来細胞」）を用いてウイルス分離を行った。インフルエンザウイルスの分離には、培養細胞（MDCK「イヌ腎由来細胞」）を使用した。

分離したウイルスの同定には中和反応、ダイレクトシーケンス法、蛍光抗体法（以下「FA法」という。）、リアルタイムRT-PCR法等を用いた。

（イ）細菌検査

常法により、ふん便から下痢原性大腸菌、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌などの食中毒や感染性胃腸炎の起因菌を、鼻咽頭ぬぐい液から溶血性レンサ球菌などの呼吸器感染症の起因菌の分離を行った。

表4 検査材料別・ウイルス及び細菌別の検査実施状況

		ウイルス	細菌	全数
受付患者数		49	17	49
検査材料	ふん便	23	17	23
	鼻咽頭ぬぐい液	23	0	23
	髄液	5	0	5
	咽頭うがい液	1	0	1
	検体合計	52	17	52
病原体検出患者数		10	4	14
病原体の検出株数		10	6	16
患者当たりの検出率(%)		20.4	23.5	28.6

エ 検査結果

(ア) 月別病原体検出状況（小児科、インフルエンザ、眼科、基幹定点）（表 7/p.50）

各月の受付患者数は、6月が最も多く10名で、3月及び9月は受付がなかった。年間の受付患者49名のうち14名から16株の病原微生物を検出し、受付患者当たりの検出率は28.6%であった。

ウイルス検査では、被検患者49名中10名から10株のウイルスを検出した。被検患者当たりのウイルス検出率は20.4%であった。検出したウイルスの内訳は、表5のとおりである。

表5 検出したウイルス・細菌の内訳

コクサッキーA群ウイルス	6型:2株	1種	2株
エコーウイルス	25型:1株	1種	1株
アデノウイルス	41型:3株	1種	3株
ノロウイルス	GII:2株	1種	2株
RSウイルス	2株	1種	2株
ウイルス		合計	10株
下痢原性大腸菌	その他下痢原性大腸菌:2株	2種	2株
黄色ブドウ球菌	コアグラゼ型別不明:3株		3株
サルモネラ属菌	1株	1種	1株
細菌		合計	6株

検出ウイルスの季節推移をみると、エンテロウイルス（コクサッキーA群ウイルス及びエコーウイルス）は2月、8月、11月に検出した。また、例年年間を通して検出が見られるアデノウイルスは6月、7月及び8月の夏季に検出した。

ノロウイルスは、8月に検出した。

インフルエンザウイルスは検査材料の搬入がなく、検出されなかった。

細菌検査では、被検患者17名中4名から6株の病原細菌を検出し、患者当たりの検出率は23.5%であった。検出した細菌の内訳は表5のとおりである。

黄色ブドウ球菌及び下痢原性大腸菌を5月及び10月に、サルモネラを5月に検出した。

(イ) 感染症別病原体検出状況（小児科、インフルエンザ、眼科、基幹定点）（表 8/p.51）

感染性胃腸炎は、受付患者数の42.9%、インフルエンザ、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎などの呼吸器疾患は、40.8%を占めていた。

主な感染症別の病原体検出率は、手足口病が50.0%、感染性胃腸炎が42.9%、感染性髄膜炎が25.0%、RSウイルス感染症が18.2%であった。

主な感染症について、ウイルスの検出状況をみると、感染性胃腸炎では、アデノウイルス1種3株及びノロウイルス1種2株、感染性髄膜炎ではエンテロウイルス2種2株をそれぞれ検出した。

また、細菌の検出状況をみると、感染性胃腸炎の検体から、黄色ブドウ球菌3株、サルモネラ1株、下痢原性大腸菌2株の計6株を検出した。

(ウ) 年齢階層別病原体検出状況（小児科、インフルエンザ、眼科、基幹定点）（表 9/p.52）

受付患者の年齢階層別分布をみると、0歳が19名(20.4%)で最も多く、次いで1～4歳の17名(34.7%)、5～9歳の7名(14.3%)、10～14歳の5名(10.2%)で、15歳以上は1名(2.0%)であった。

年齢階層別の受付患者当たりの検出率は、5～9歳が42.9%(ウイルス2種2株、細菌2種2株)、1～4歳が

41.2%(ウイルス 4 種 6 株、細菌 1 種 1 株)、0 歳が 21.1%(ウイルス 2 種 2 株、細菌 2 種 3 株)、10~14 歳及び 15 歳以上は 0.0%であった。

エンテロウイルスは 1~4 歳で 1 種 2 株、0 歳で 1 種 1 株、アデノウイルスは 1~4 歳で 1 種 2 株、5~9 歳で 1 種 1 株を検出した。ノロウイルスは 1~4 歳及び 5~9 歳でそれぞれ 1 種 1 株を検出した。RS ウイルスは 0 歳及び 1~4 歳でそれぞれ 1 株を検出した。

インフルエンザウイルス及びロタウイルスは検出しなかった。

(エ) 主な疾病（臨床診断）と病原体検出状況（表 7/p.50、表 8/p.51、表 9/p.52）

a インフルエンザ（図 2-1、図 2-2）

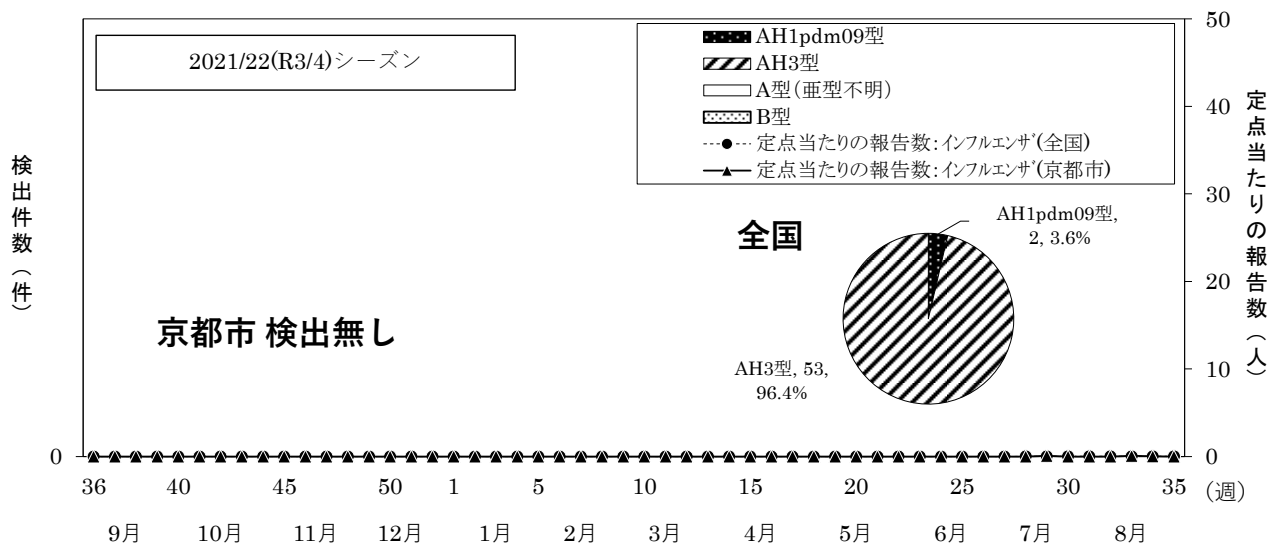


図 2-1 インフルエンザ患者の発生状況とインフルエンザウイルスの検出状況(令和 3 年 9 月~令和 4 年 8 月)

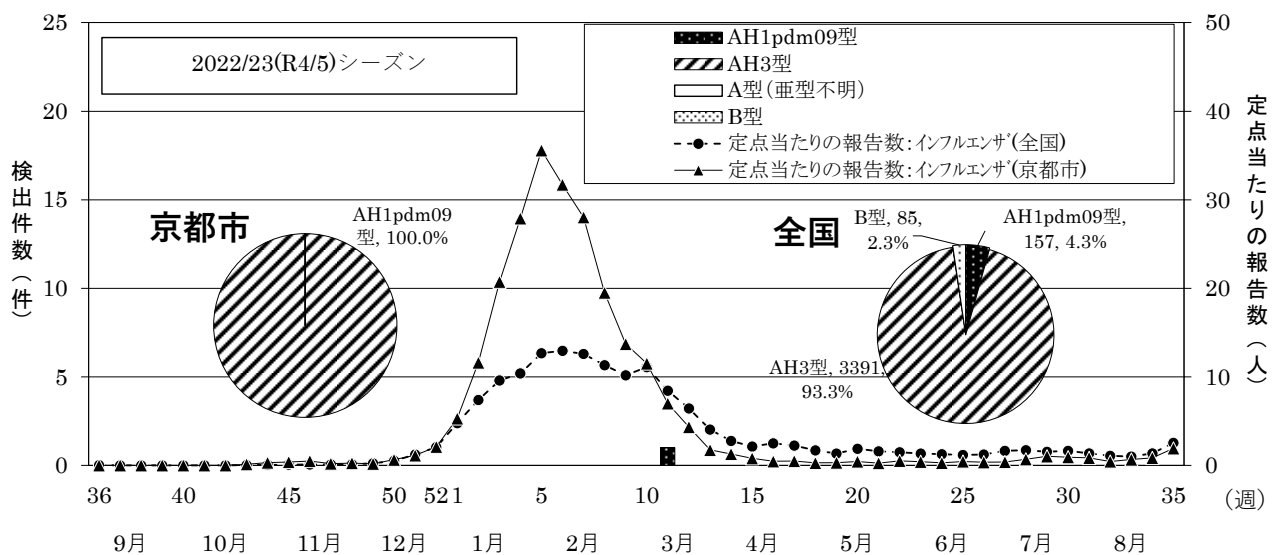


図 2-2 インフルエンザ患者の発生状況とインフルエンザウイルスの検出状況(令和 4 年 9 月~令和 5 年 8 月)

本市感染症発生動向調査患者情報によると、2021/22 (R3/4) シーズンは定ポイント当り報告数が 1.0 を超える週はなく、そのまま終息を迎えた。全国も同様であった。

本市では、インフルエンザウイルスの検出はなかった。全国では、2021/22 (R3/4) シーズンは、AH1pdm09

型を3株、AH3型を53株であった。

また、本市感染症発生動向調査患者情報によると、2022/23 (R4/5) シーズンは令和4年12月の第51週に定点当たり報告数が1.0を超え、インフルエンザの流行期に入り、令和5年1月の第5週に警報レベル30を超えピークを形成後、減少し、終息を迎えた。全国でも同様に令和4年12月の第51週に定点当たり報告数が1.0を超え、流行期に入り令和5年1月の第5週に注意報レベルの10を超えた後、減少したが、シーズン終了まで1.0を下回ることなく推移した。

本市でのインフルエンザウイルス検出状況を見ると、令和5年3月の第11週にAH1pdm09型を1株検出した。全国では、2022/23 (R4/5) シーズンは、AH1pdm09型を157株、AH3型を3391株、B型85株であった。

b 感染性胃腸炎 (図3-1、図3-2)

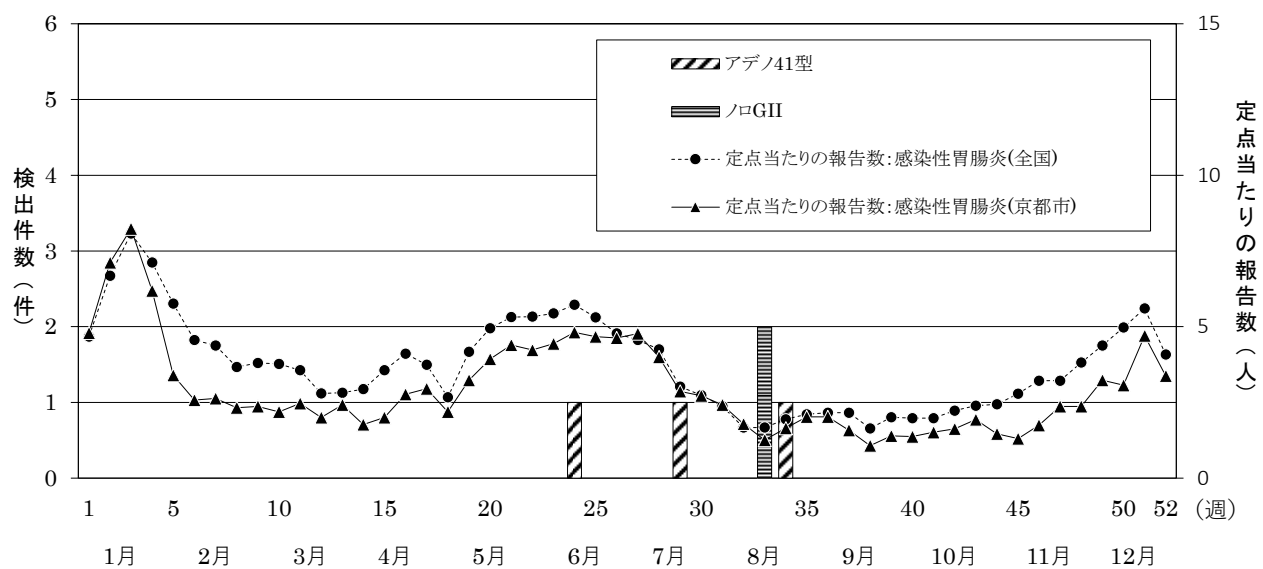


図3-1 感染性胃腸炎患者における病原ウイルスの検出状況(令和4年)

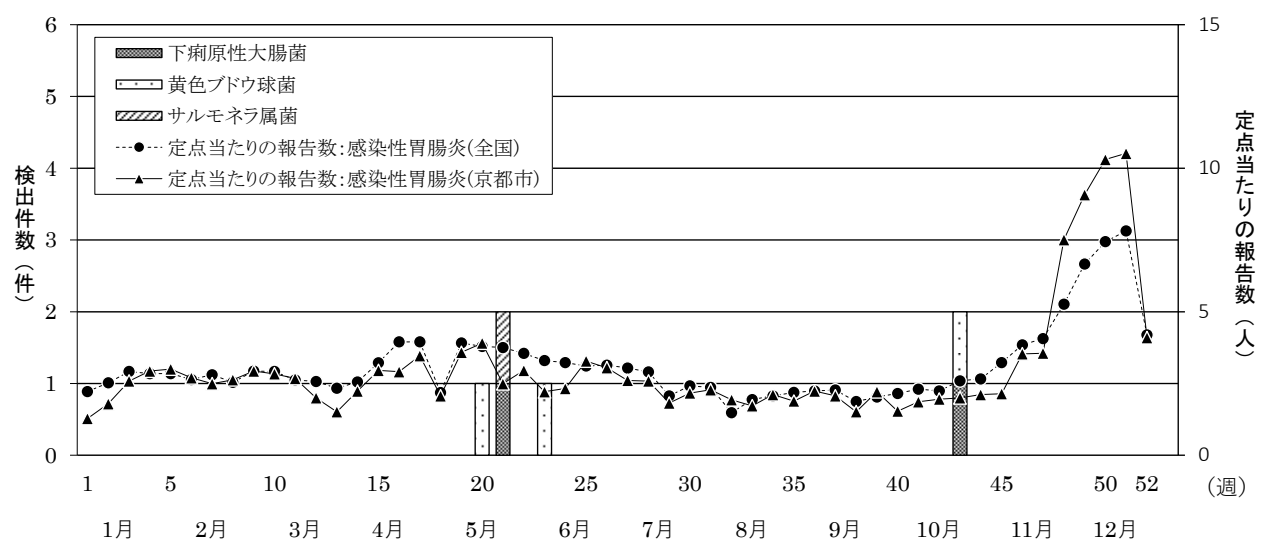


図3-2 感染性胃腸炎患者における病原細菌の検出状況(令和4年)

本市では、臨床診断名が感染性胃腸炎の受付検患者21名のうち9名からウイルス5株及び細菌6株を検

出した。

ウイルスでは、8月にノロウイルスのGIIを2株、6月、7月及び8月にアデノウイルスをそれぞれ1株ずつ検出した。ロタウイルス及びエンテロウイルスは検出しなかった。

細菌では、黄色ブドウ球菌を5月に2株及び10月に1株、下痢原性大腸菌を5月及び10月に各1株、サルモネラ属菌を5月に1株検出した。

c RSウイルス感染症(図4)

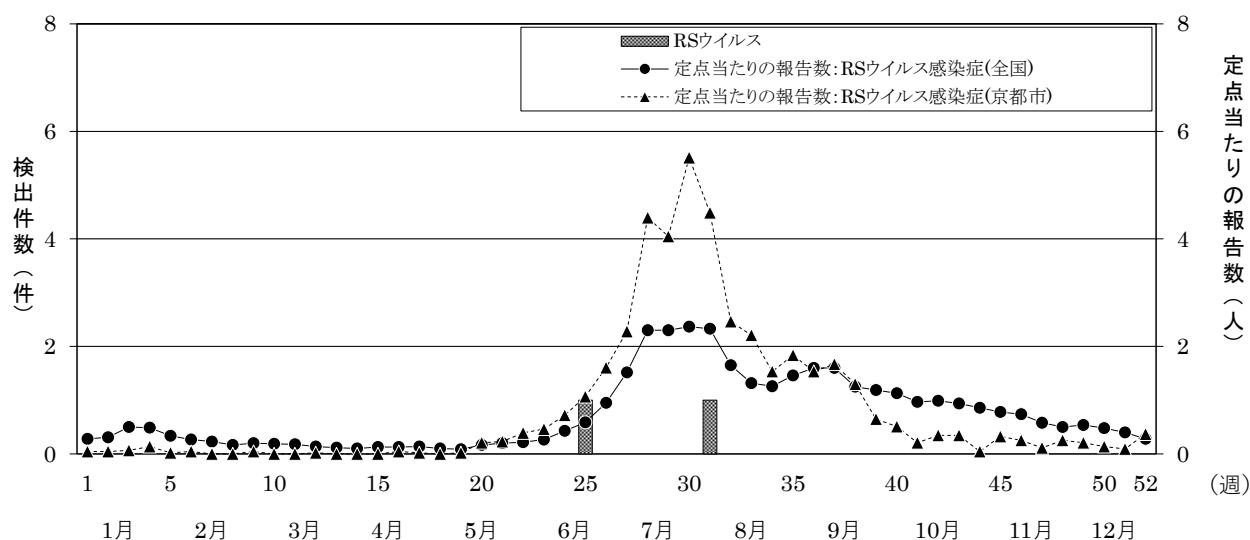


図4 RSウイルス感染症患者におけると病原体の検出状況(令和4年)

本市における臨床診断名がRSウイルス感染症の受付検患者数は11名で、うち2名からRSウイルスを2株検出した。

d 咽頭結膜熱(図5)

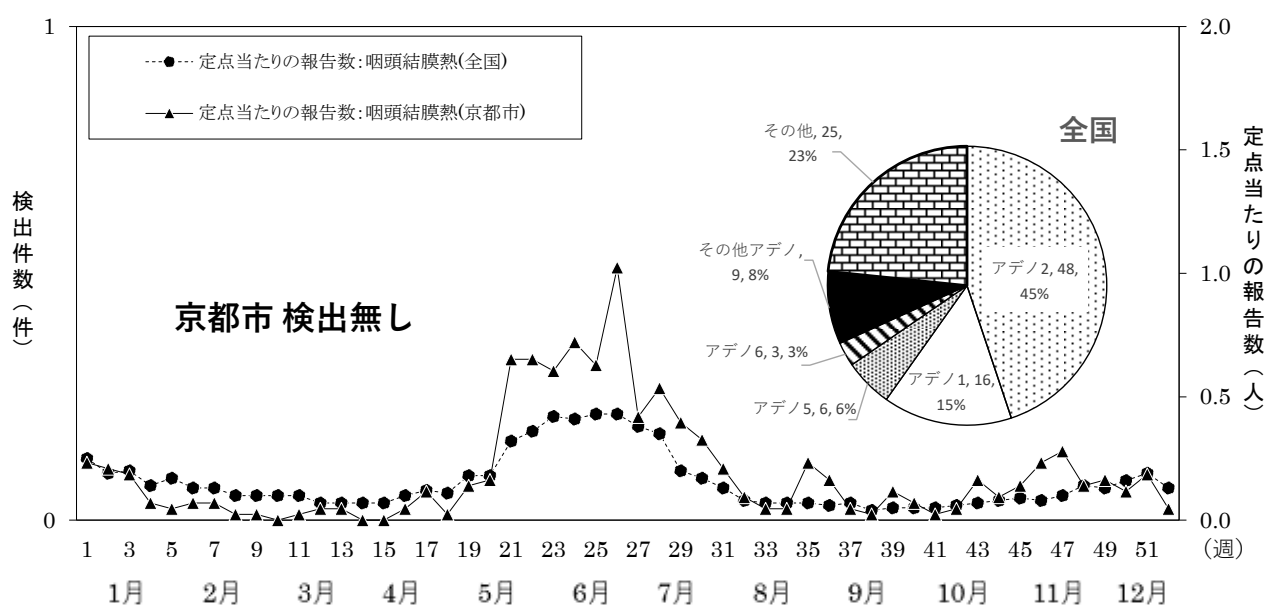


図5 咽頭結膜熱患者発生状況と病原体検出状況(令和4年)

本市における臨床診断名が咽頭結膜熱の受付患者数は3名であったが、病原体は検出しなかった。

令和4年の全国の咽頭結膜熱におけるウイルスの検出状況では、アデノウイルス2型が最も多く45.0%、次いで1型が15.0%、5型が6.6%、6型が3.3%であった。

e A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図6-1、図6-2)

本市における臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の受付患者数は0名で、A群溶血性レンサ球菌は検出しなかった。全国のT血清型別検出比率をみると、劇症型溶血性レンサ球菌感染症事例で検出されることの多いT-1型の検出率は、全国で2.6%であった。

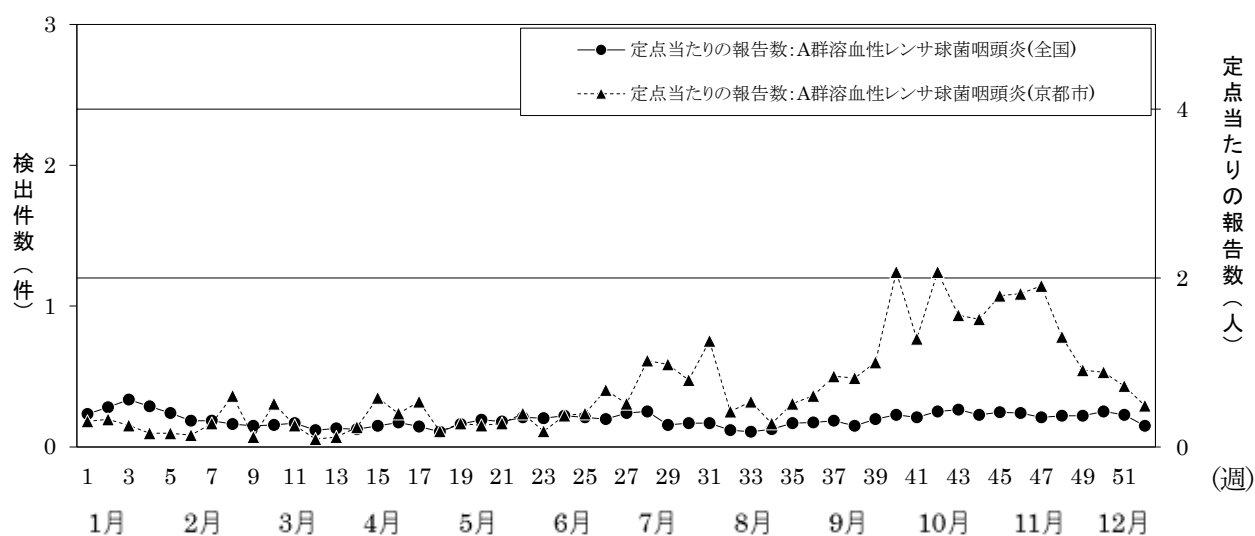


図6-1 A群溶血性レンサ球菌(T血清型別)の検出状況(令和4年)

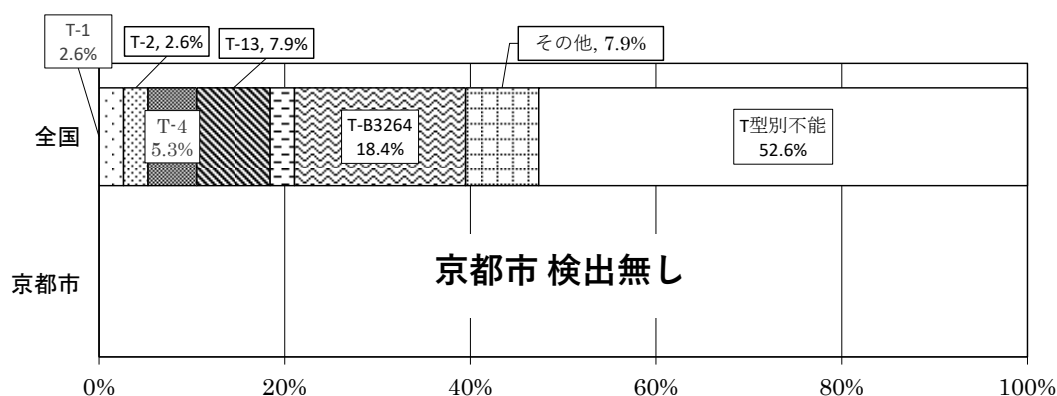


図6-2 A群溶血性レンサ球菌のT血清型別検出比率(令和4年)

f ヘルパンギーナ(図7)

ヘルパンギーナは例年、夏にかけて流行が見られる。令和4年は本市では7月、全国は6月から緩やかに増加し始め、10月に小さなピークを示して以降、減少した。

臨床診断名がヘルパンギーナの受付患者数は6名でであったが、病原体は検出しなかった。

全国の病原体検出状況を表6に示した。令和4年は、コクサッキーA群ウイルス6型(50.7%)、4型(13.8%)の順にウイルスが検出された。

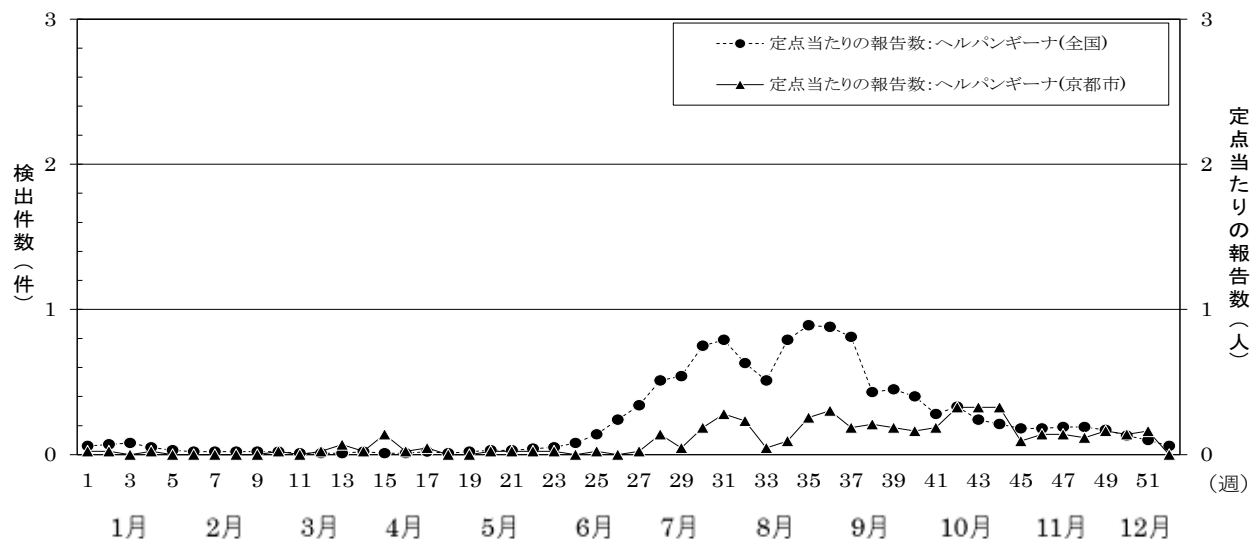


図7 ヘルパンギーナ患者における病原ウイルスの検出状況(令和4年)

年	CA4	CA5	CA6	CA10	CA16	CB5	その他
2022	20	0	73	2	1	0	48
2021	98	0	28	4	0	0	66
2020	49	0	0	14	0	0	67
2019	18	73	210	30	19	10	237
2018	195	23	12	84	14	7	335

表6 ヘルパンギーナ疾病患者から検出したコクサッキーA群及びB群ウイルスの型別内訳(全国)(人)

g 手足口病 (図8)

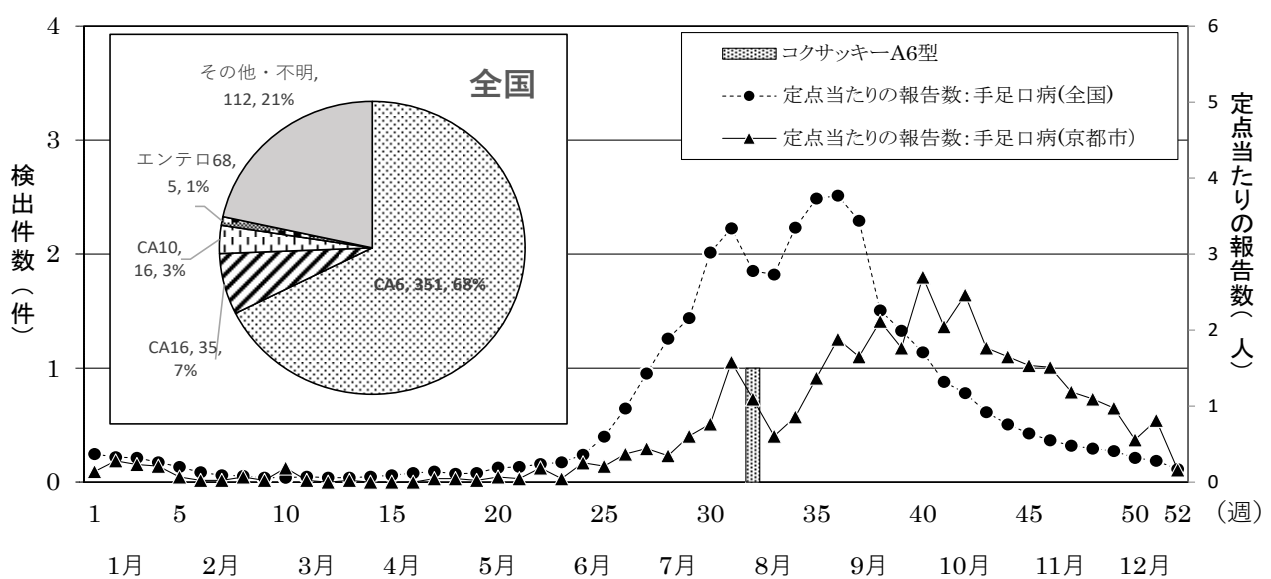


図8 手足口病患者における病原ウイルス検出状況(令和4年)

手足口病は例年、7月にピークが見られるが、令和4年は本市、全国共に6月から緩やかに増加し始め、本市は10月（第40週）、全国は9月（第36週に）にピークを示して以降、減少した。

手足口病を引き起こすウイルスとしては、コクサッキーA群ウイルス6型、10型、16型、エンテロウイルス71型が代表に挙げられるが、本市では、臨床診断名が手足口病の受付患者数は2名で、そのうち1名からコクサッキーA群ウイルス6型を1株検出した。エンテロウイルス71型は検出しなかった。

また、全国では、コクサッキーA群ウイルス6型が351株(68.0%)、16型が35株(7.0%)、10型が16株(3.0%)、エンテロウイルス68型が5株（1.0%）、その他112株(21.0%)の計519株であった。

（オ）検体別・検出方法別病原ウイルス検出状況(表10/p.53)

エコーウイルスは、25型の1株がRD-18S細胞で分離された。

コクサッキーウイルスA群は6型を2株、遺伝子検査によりウイルス遺伝子を検出した。

アデノウイルスは、41型が3株、遺伝子検査によりウイルス遺伝子を検出した。

ノロウイルスはGⅡを2株、RSウイルスは2株を遺伝子検査によりウイルス遺伝子を検出した。

培養細胞法によるウイルスの検査体制はほぼ確立されているが、被検患者から採取した検体中に活性のあるウイルスが存在していることが必須条件となり、採取後の温度や期間等の保管条件によっては失活し検出できなくなる。また、分離困難なウイルスも存在するといった欠点がある。

感染症発生動向調査においても、迅速な実験室診断が要請される傾向は年々ますます強まっており、検出率と迅速性の向上を目指して、培養細胞法と並行して可能な限り新たな検査技術の導入を図っていかなければならないと考える。

オ まとめ

（ア）京都市感染症発生動向調査事業における病原体検査（定点医療機関分）では、受付患者49名のうち14名(28.6%)から病原体を検出した。ウイルスでは、被検患者49名中10名(20.4%)から、エコー、コクサッキーA群、アデノ、ノロ、RSのウイルス5種類10株を検出した。細菌では、被検患者17名中4名(23.5%)から、黄色ブドウ球菌、下痢原性大腸菌及びサルモネラ菌の細菌6株を検出した。

（イ）感染症別病原体の検出率は、疾病の種類により異なり、手足口病が50.0%、感染性胃腸炎が42.9%、感染性髄膜炎が25.0%、RSウイルス感染症が18.2%、であった。

（ウ）新型コロナウイルス感染症流行の影響により、例年に比べて受付患者数が非常に少なかったため、ウイルス及び細菌の検出数も少ない年となった。

（エ）年齢階層別病原体検出状況では、5～9歳の検出率が最も高く42.9%で、次いで1～4歳の41.2%、0歳の21.1%であった。受付患者数では、0歳が19名(38.8%)と最も多かった。

表 7 月別病原体検出状況(小児科, インフルエンザ, 眼科, 基幹定点)

令和4年1月～12月

検体採取月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	病原 体 検 出 比 率 (%)
総受付患者数		2	3	0	4	9	10	8	4	0	3	2	4	49	
検 査 材 料	ふん便	2	2	0	1	4	4	3	3	0	3	1	0	23	
	鼻咽喉ぬぐい液	0	1	0	3	4	5	5	0	0	0	1	4	23	
	髄液	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	5	
	咽頭うがい液	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
気管吸引		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病原体検出患者数		0	1	0	0	3	2	2	4	0	1	1	0	14	病 原 体 検 出 比 率 (%)
患者当たりの検出率(%)		0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	20.0	25.0	100.0	0.0	33.3	50.0	0.0	28.6	
ウ イ ル ス	被検患者数	2	3	0	4	9	10	8	4	0	3	2	4	49	
	検出患者数	0	1	0	0	0	2	2	4	0	0	1	0	10	
	患者当たりの検出率(%)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	20.0	25.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	20.4	
	エンデロ コクサッキーA6型		1						1					1	6.3
RSウイルス	アデノ アデノ41型						1	1	1					3	12.5
	ノロウイルスGII型								2					2	18.8
	RSウイルス						1	1						2	12.5
	小 計	0	1	0	0	0	2	2	4	0	0	1	0	10	62.5
細 菌	被検患者数	2	1	0	1	4	2	3	2	0	2	0	0	17	病 原 体 検 出 比 率 (%)
	検出患者数	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	4	
	患者当たりの検出率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	23.5	
	黄色ブドウ球菌					2					1			3	
下痢原性大腸菌	サルモネラ属菌					1								1	18.8
	下痢原性大腸菌					1					1			2	6.3
	小 計	0	0	0	0	4	0	0	0	0	2	0	0	6	12.5
	合 計	0	1	0	0	4	2	2	4	0	2	1	0	16	37.5
														100.0	

表 8 感染症別病原体検出状況(小児科, インフルエンザ, 眼科, 基幹定点)

令和4年1月～12月

疾病名		感染性胃腸炎	インフルエンザ	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	手足口病	感染性髄膜炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	流行性角結膜炎	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	その他	計（重複有）	計（重複無）	病原体検出比率（％）	
総受付患者数		21	0	6	3	2	8	0	0	0	11	2	53	49		
検査材料	ふん便	18	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	23	23		52
	鼻咽頭ぬぐい液	4	0	6	3	0	1	0	0	0	11	2	27	23		
	髄液	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	5		
	咽頭うがい液	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1		
病原体検出患者数		9	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	14	14		
患者当たりの検出率(%)		42.9	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	26.4	28.6		
ウイルス	被検患者数		13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13		
	検出患者数		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4		
	患者当たりの検出率(%)		30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8	30.8		
	エンテロ	エコー25型						1					1	1	6.3	
		コクサッキーA6型					1	1					2	2	12.5	
	アデノ	アデノ41型	3										3	3	18.8	
	ノロウイルスGⅡ型		2										2	2	12.5	
	RSウイルス											2		2	2	12.5
小 計		5	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	10	10	62.5	
細菌	被検患者数		17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17		
	検出患者数		4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4		
	患者当たりの検出率(%)		23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	23.5		
	黄色ブドウ球菌		3										3	3	18.8	
	サルモネラ属菌		1										1	1	6.3	
	下痢原性大腸菌		2										2	2	12.5	
	小 計		6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	37.5
合 計		11	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	16	16	100.0	

表 9 年齢階層別病原体検出状況(小児科, インフルエンザ, 眼科, 基幹定点)

令和4年1月～12月

年齢		0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15歳以上	計		病原体検出比率（％）
総受付患者数		19	17	7	5	1	49		
検査材料	ふん便	6	8	5	3	1	23	52	
	鼻咽頭ぬぐい液	13	6	2	2	0	23		
	髄液	1	3	1	0	0	5		
	咽頭うがい液	0	1	0	0	0	1		
病原体検出患者数		4	7	3	0	0	14		
患者当たりの検出率(%)		21.1	41.2	42.9	0.0	0.0	28.6		
ウイルス	被検患者数		19	17	7	5	1	49	
	検出患者数		2	6	2	0	0	10	
	患者当たりの検出率(%)		10.5	35.3	28.6	0.0	0.0	20.4	
	エンテロ	エコー25型	1					1	6.3
		コクサッキーA6型		2				2	12.5
	アデ	アデノ41型		2	1			3	18.8
	ノロウイルスGII型			1	1			2	18.8
	RSウイルス		1	1				2	12.5
	小 計		2	6	2	0	0	10	62.5
細菌	被検患者数		4	6	3	3	1	17	
	検出患者数		2	1	1	0	0	4	
	患者当たりの検出率(%)		50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	23.5	
	黄色ブドウ球菌		2	1				3	18.8
	サルモネラ属菌				1			1	6.3
	下痢原性大腸菌		1		1			2	12.5
	小 計		3	1	2			6	37.5
合 計		5	7	4	0	0	16	100.0	

表 10 検出方法別病原ウイルス検出状況

令和4年1月～12月

		検体の種類			検出 件数	培養細胞				イムノ クロマト	遺伝子 検査
		ふん便	鼻咽頭 ぬぐい液	髄液		FL	RD-18S	Vero	MDCK		
エンデロ	エコー25型	1			1		1				
	コクサッキーA6型		1	1	2						2
アデノ	アデノ41型	3			3						3
ノロウイルスGI型		2			2						2
RSウイルス			2		2						2
合 計		6	3	1	10	0	1	0	0	0	9